



# 世田谷プラットフォーム

## 単位互換共通シラバス

大学院歴史学分野

---



## 大学院歴史学分野 目次

### 国士舘大学

ページ	科目名称	年度	開講期	曜日	時限	単位数	教員氏名漢字	授業形態
1	日本史学演習 1 I	2020	通年	月	2	4	秋山 哲雄	演習
3	日本史学演習 1 II	2020	通年	月	3	4	秋山 哲雄	演習
5	日本史学特論 2	2020	通年	木	2	4	秋山 哲雄	講義
7	日本史学演習 2 I	2020	通年	金	4	4	夏目 琢史	演習
9	日本史学演習 2 II	2020	通年	水	3	4	夏目 琢史	演習
11	日本史学講読 1	2020	通年	火	1	4	夏目 琢史	講義
13	日本史学演習 3 I	2020	通年	月	7	4	勝田 政治	演習
15	日本史学演習 3 II	2020	通年	水	6	4	勝田 政治	演習
17	日本史学講読 2	2020	通年	月	6	4	勝田 政治	講義
19	日本史学演習 4 I	2020	通年	水	2	4	仁藤 智子	演習
22	日本史学演習 4 II	2020	通年	水	3	4	仁藤 智子	演習
25	日本史学特論 1	2020	通年	火	2	4	仁藤 智子	講義
28	日本史学特論 3	2020	通年	火	4	4	久保田 裕次	講義
30	日本史料学特論 2	2020	通年	火	5	4	久保田 裕次	講義

駒澤大学

ページ	科目名称	年度	開講期	曜日	時限	単位数	教員氏名漢字	授業形態
32	日本史学特講Ⅰ	2020	通年	土	3	4	瀧音 能之	講義
35	日本史学演習Ⅰ	2020	通年	木	3	4	瀧音 能之	演習
38	日本史学特講Ⅳ	2020	通年	金	4	4	林 譲	講義
42	日本史学演習Ⅳ	2020	通年	水	3	4	林 譲	演習
46	日本史学特講Ⅴ	2020	通年	水	1	4	中野 達哉	講義
47	日本史学演習Ⅴ	2020	通年	火	5	4	中野 達哉	演習
48	日本史学特講Ⅵ	2020	通年	月	3	4	菅野 洋介	講義
51	日本史学特講Ⅶ	2020	通年	木	4	4	小泉 雅弘	講義
52	日本史学演習Ⅶ	2020	通年	木	3	4	小泉 雅弘	演習
53	日本史学特講Ⅷ	2020	通年	火	2	4	熊本 史雄	講義
54	日本史学演習Ⅷ	2020	通年	月	5	4	熊本 史雄	演習
55	日本史学特講Ⅸ	2020	通年	火	4	4	三舟 隆之	講義
59	日本史学特講Ⅹ	2020	通年	水	5	4	大久保 俊昭	講義
62	日本史学特講ⅩⅠ	2020	通年	月	4	4	太田 尚宏	講義
65	日本史学特講ⅩⅡ	2020	通年	水	2	4	小林 和幸	講義
67	アーカイブズ概論	2020	通年	月	5	4	太田 尚宏	講義
70	アーカイブズ管理論	2020	通年	木	3	4	中野目 徹	講義
73	アーカイブズ資源論	2020	通年	土	2	4	小宮 一夫	講義
76	東洋史学特講Ⅰ	2020	通年	火	3	4	石井 仁	講義
79	東洋史学演習Ⅰ	2020	通年	火	2	4	石井 仁	演習
80	東洋史学特講Ⅱ	2020	通年	火	4	4	中村 淳	講義
81	東洋史学演習Ⅱ	2020	通年	木	3	4	中村 淳	演習
82	東洋史学特講Ⅳ	2020	通年	木	2	4	宮崎 洋一	講義
84	東洋史学特講Ⅴ	2020	通年	水	1	4	杉山 清彦	講義
85	東洋史学特講Ⅵ	2020	通年	月	2	4	須江 隆	講義
88	西洋史学特講Ⅰ	2020	通年	水	5	4	大城 道則	講義
89	西洋史学演習Ⅰ	2020	通年	火	2	4	大城 道則	演習
90	西洋史学特講Ⅱ	2020	通年	土	3	4	高田 良太	講義
91	西洋史学演習Ⅱ	2020	通年	火	2	4	高田 良太	演習
92	西洋史学特講Ⅲ	2020	通年	金	3	4	佐々木 真	講義
93	西洋史学演習Ⅲ	2020	通年	金	4	4	佐々木 真	演習
94	西洋史学特講Ⅳ	2020	通年	金	2	4	井上 文則	講義
97	西洋史学特講Ⅵ	2020	通年	月	4	4	藪本 将典	講義

## Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

## 概要

対象年度	年度	2020	期	(週17)通年	開講時限	月2
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071028700	科目ナンバー				
授業名	日本史学演習 1 I					
英文授業名	Seminar on Japanese History 1 I					
担当教員	秋山 哲雄					

授業形態	演習	
	e-learning利用	その他：
担当形態	単独	
関連する授業	なし	
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	なし
	後続関連授業	なし
教職課程科目		
テーマ・キーワード	中世の史料を読んで論点を析出する	

授業の概要・ねらい	中世の史料を講読し、そこから論点を導き出す。
到達目標	論文を書けるだけの史料読解、プレゼン能力を身につける。
教科書と準備するもの	特に指定しない
参考書	特に指定しない
評価の基準	研究発表の内容がどれだけのレベルに達しているかで評価する
具体的評価方法	史料の収集と研究発表の内容を総合的に判断する。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	アンケートの内容を踏まえ、翌年度の講義に活かす努力をする。 自らの足で、史跡や博物館に見学に行っていほしい。
単位互換	
特記	なし

## 授業計画

第1回	内容	中世史料の講読と考察	第16回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第2回	内容	中世史料の講読と考察	第17回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第3回	内容	中世史料の講読と考察	第18回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第4回	内容	中世史料の講読と考察	第19回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第5回	内容	中世史料の講読と考察	第20回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第6回	内容	中世史料の講読と考察	第21回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第7回	内容	中世史料の講読と考察	第22回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第8回	内容	中世史料の講読と考察	第23回	内容	中世史料の講読と考察

	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第9回	内容	中世史料の講読と考察	第24回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第10回	内容	中世史料の講読と考察	第25回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第11回	内容	中世史料の講読と考察	第26回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第12回	内容	中世史料の講読と考察	第27回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第13回	内容	中世史料の講読と考察	第28回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第14回	内容	中世史料の講読と考察	第29回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第15回	内容	中世史料の講読と考察	第30回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集と考察
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし

## Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

## 概要

対象年度	年度	2020	期	(週17)通年	開講時限	月3
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071028800	科目ナンバー				
授業名	日本史学演習 1 II					
英文授業名	Seminar on Japanese History 1 II					
担当教員	秋山 哲雄					

授業形態	演習	
	e-learning利用	その他：
担当形態	単独	
関連する授業	なし	
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	なし
	後続関連授業	なし
教職課程科目		
テーマ・キーワード	史料を読み、論点を析出する	

授業の概要・ねらい	中世史料を読み、考察を加える能力を身に付ける
到達目標	一人で史料が読めるようにする。
教科書と準備するもの	特に指定しない
参考書	特に指定しない
評価の基準	史料が読めるかどうか。
具体的評価方法	史料を読ませ、その内容を理解できたかを評価する。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	アンケートの内容を踏まえ、翌年度の講義に活かす。 自らの足で史跡や博物館に見学に行ってもらいたい。
単位互換	
特記	なし

## 授業計画

第1回	内容	中世史料の講読と考察	第16回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修(予習・復習等)	事前に自分で当該史料を読み、講義後は読みおよび考察を復習する。		授業時間外における学修(予習・復習等)	事前に自分で当該史料を読み、講義後は読みおよび考察を復習する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第2回	内容	中世史料の講読と考察	第17回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修(予習・復習等)	事前に自分で当該史料を読み、講義後は読みおよび考察を復習する。		授業時間外における学修(予習・復習等)	事前に自分で当該史料を読み、講義後は読みおよび考察を復習する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第3回	内容	中世史料の講読と考察	第18回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修(予習・復習等)	事前に自分で当該史料を読み、講義後は読みおよび考察を復習する。		授業時間外における学修(予習・復習等)	事前に自分で当該史料を読み、講義後は読みおよび考察を復習する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第4回	内容	中世史料の講読と考察	第19回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修(予習・復習等)	事前に自分で当該史料を読み、講義後は読みおよび考察を復習する。		授業時間外における学修(予習・復習等)	事前に自分で当該史料を読み、講義後は読みおよび考察を復習する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第5回	内容	中世史料の講読と考察	第20回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修(予習・復習等)	事前に自分で当該史料を読み、講義後は読みおよび考察を復習する。		授業時間外における学修(予習・復習等)	事前に自分で当該史料を読み、講義後は読みおよび考察を復習する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第6回	内容	中世史料の講読と考察	第21回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修(予習・復習等)	事前に自分で当該史料を読み、講義後は読みおよび考察を復習する。		授業時間外における学修(予習・復習等)	事前に自分で当該史料を読み、講義後は読みおよび考察を復習する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第7回	内容	中世史料の講読と考察	第22回	内容	中世史料の講読と考察
	授業時間外における学修(予習・復習等)	事前に自分で当該史料を読み、講義後は読みおよび考察を復習する。		授業時間外における学修(予習・復習等)	事前に自分で当該史料を読み、講義後は読みおよび考察を復習する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第8回	内容	中世史料の講読と考察	第23回	内容	中世史料の講読と考察



## Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

## 概要

対象年度	年度	2020	期	(週17)通年	開講時限	木2
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071021800	科目ナンバー				
授業名	日本史学特論2					
英文授業名	Special Studies in Japanese History 2					
担当教員	秋山 哲雄					

授業形態	講義	
	e-learning利用	その他：
担当形態	単独	
関連する授業	なし	
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	なし
	後続関連授業	なし
教職課程科目		
テーマ・キーワード	史料を読める力を身につける	

授業の概要・ねらい	史料を収集し、読み込むことで、日本史学研究に必要な史料収集の方法論と史料の読解を学ぶ。
到達目標	ある程度の史料の収集および史料読解ができるようにする。
教科書と準備するもの	藤木久志編（『日本中世気象災害史年表稿』高志書院）に掲載された史料を順に読む。
参考書	授業時の報告内容と学期末のレポートで評価する。
評価の基準	史料の収集力や史料の読解力によって評価する
具体的評価方法	授業中の史料読解や事前の史料収集力をみて判断する
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	アンケート内容は次年度の講義にフィードバックする。 みずからの足で史跡や博物館に見学に行ってもらいたい。
単位互換	
特記	なし

## 授業計画

第1回	内容	履修のためのガイダンス	第16回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	シラバスの熟読、使用する教材の検討		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第2回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。	第17回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集・読解		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第3回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。	第18回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集・読解		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第4回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。	第19回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集・読解		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第5回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。	第20回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集・読解		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第6回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。	第21回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集・読解		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第7回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。	第22回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集・読解		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第8回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。	第23回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。

	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集・読解		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第9回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。	第24回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集・読解		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第10回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。	第25回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集・読解		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第11回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。	第26回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集・読解		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第12回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。	第27回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集・読解		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第13回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。	第28回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集・読解		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第14回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。	第29回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集・読解		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第15回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。	第30回	内容	気象災害関連の史料を収集して読む。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集・読解		授業時間外における学修（予習・復習等）	史料の収集
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし

クリックして表示・非表示切り替え

## 概要

対象年度	年度	2020	期	(週1R)通年	開講時限	木4
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071028900	科目ナンバー				
授業名	日本史学演習 2 I					
英文授業名	Seminar on Japanese History 2 I					
担当教員	夏目 琢史					

授業形態	講義、演習		
	e-learning利用	manaba	その他：
担当形態	単独		
関連する授業	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	ありません。	
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	人物と学説でたどる日本史		

授業の概要・ねらい	この授業では、日本史のおおまかな流れをつかむと同時に、歴史叙述の方法論について習得していく。とくに、本講義の前半では、古代～近現代のある特定の人物に焦点をあてつつその時代について概説する。後半は歴史研究者に注目し、その学説の意義について考えをめぐらす。
到達目標	日本史の通史の流れをとらえ、説明できるようにすること。または、学説史について把握すること。
教科書と準備するもの	夏目琢史『名著から読み解く日本社会史』（ミネルヴァ書房、2018年）
参考書	講義のなかで適宜示します。
評価の基準	日本史の基本的な概念を理解するとともに、歴史叙述の方法論を身につけたかどうかで総合的に判断する。
具体的評価方法	授業での発言（60%）および期末レポート（40%）
実務経験教員による授業科目	ありません。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	【授業評価アンケート/フィードバック】 少人数の授業ですので、個々の院生の要望を伺いつつ、授業を展開していきます。 【受講生へメッセージ】 日本近世史を専門としない院生も、積極的に参加してください。
単位互換	
特記	ありません。

## 授業計画

第1回	内容	歴史研究の方法と課題	第16回	内容	徳川実成院とその時代
	授業時間外における学修（予習・復習等）	学部の授業で学んだ内容を復習しておいてください。		授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第2回	内容	人物史研究の弊害と可能性	第17回	内容	白柳秀湖とその時代
	授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備をおこなってください。		授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第3回	内容	道昭和尚とその時代	第18回	内容	自分史の可能性
	授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第4回	内容	安都雄正とその時代	第19回	内容	福田徳三とその時代
	授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第5回	内容	春澄善繩とその時代	第20回	内容	左右田喜一郎とその時代
	授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第6回	内容	藤原元命とその時代	第21回	内容	横井時冬とその時代
	授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第7回	内容	山村吉則とその時代	第22回	内容	幸田成友とその時代
	授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。

第8回	内容	侍従とその時代	第23回	内容	黒板勝美とその時代
	授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第9回	内容	勸心とその時代	第24回	内容	辻善之助とその時代
	授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第10回	内容	広義門院とその時代	第25回	内容	平泉澄とその時代
	授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第11回	内容	清九郎とその時代	第26回	内容	網野善彦とその時代
	授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第12回	内容	山科言継とその時代	第27回	内容	阿部謹也とその時代
	授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第13回	内容	中井直頼とその時代	第28回	内容	阿部猛とその時代
	授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第14回	内容	祖山和尚とその時代	第29回	内容	21世紀の歴史学研究
	授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第15回	内容	金森頼錦とその時代	第30回	内容	まとめ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	前回授業の復習と次回報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	これまでの授業の内容をよく復習しておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。

クリックして表示・非表示切り替え

## 概要

対象年度	年度	2020	期	(週11R)通年	開講時限	水3
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071029000	科目ナンバー				
授業名	日本史学演習 2 II					
英文授業名	Seminar on Japanese History 2 II					
担当教員	夏目 琢史					

授業形態	演習	
	e-learning利用	その他：
担当形態	単独	
関連する授業	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	ありません。
	後続関連授業	
教職課程科目		
テーマ・キーワード	近世村落史の演習	

授業の概要・ねらい	江戸時代の古文書（地方文書）を用いて、その資料群を整理するとともに、村落内の社会構造や社会関係について考察していく。古文書から明かになった研究成果について、院生が報告する。
到達目標	近世村落史研究の研究史を理解するとともに、研究の実践的な方法を習得します。
教科書と準備するもの	ありません。
参考書	ありません。
評価の基準	単に「くずし字」を読みこなすだけでなく、内容を精読し、そこから学術的な論点を導き出すことができるようにする。
具体的評価方法	報告の内容をもとに、総合的に判断します。
実務経験教員による授業科目	ありません。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	【授業評価アンケート/フィードバック】 少人数の授業ですので、個々の院生の要望を伺いつつ、授業を展開していきます。 【受講生へメッセージ】 日本近世史を専門としない院生も、積極的に参加してください。
単位互換	
特記	ありません。

## 授業計画

第1回	内容	くずし字の読解について	第16回	内容	院生による報告（10）——近世後期の社会関係について
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第2回	内容	古文書目録とは何か？	第17回	内容	院生による報告（11）——近世後期の事件について
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第3回	内容	資料調査の方法	第18回	内容	院生による報告（12）——そのほかの論点について
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第4回	内容	資料調査の実践	第19回	内容	院生による報告（13）——幕末期の社会構造について
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第5回	内容	資料の整理と目録の採集	第20回	内容	院生による報告（14）——幕末期の社会関係について
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第6回	内容	目録の作成	第21回	内容	院生による報告（15）——幕末期の事件について
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。

第7回	内容	院生による報告（1）——村の基礎的事項の確認	第22回	内容	院生による自由報告（1）——地域社会論にかかわる問題等
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第8回	内容	院生による報告（2）——先行研究の紹介と資料の位置づけ	第23回	内容	院生による自由報告（2）——身分論にかかわる問題等
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第9回	内容	院生による報告（3）——近世初期の社会構造について	第24回	内容	院生による自由報告（3）——宗教文化にかかわる問題等
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第10回	内容	院生による報告（4）——近世初期の社会関係について	第25回	内容	院生による自由報告（4）——領主権力にかかわる問題等
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第11回	内容	院生による報告（5）——近世初期の事件について	第26回	内容	院生による自由報告（5）——経済構造にかかわる問題等
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第12回	内容	院生による報告（6）——近世中期の社会構造について	第27回	内容	院生による自由報告（6）——人的ネットワークにかかわる問題等
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第13回	内容	院生による報告（7）——近世中期の社会関係について	第28回	内容	院生による自由報告（7）——書物・学問交流など
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第14回	内容	院生による報告（8）——近世中期の事件について	第29回	内容	院生による自由報告（8）——明治初期の研究成果など
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第15回	内容	院生による報告（9）——近世後期の社会構造について	第30回	内容	院生による自由報告（9）——明治以降の研究成果など
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告の準備
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。

クリックして表示・非表示切り替え

## 概要

対象年度	年度	2020	期	(週1R)通年	開講時限	火1
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071021300	科目ナンバー				
授業名	日本史学講読 1					
英文授業名	Readings in Japanese History 1					
担当教員	夏目 琢史					

授業形態	演習	
	e-learning利用	その他：
担当形態	単独	
関連する授業	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	
	後続関連授業	
教職課程科目		
テーマ・キーワード	「名著」から読み解く日本社会史	

授業の概要・ねらい	日本史全体の流れを把握し、かつ、歴史学の研究方法、研究史の潮流、基本理論等について基礎的な知識を習得していきます。本講義では、歴史学研究の「名著」（さまざま考え方があがる）について、その背景と学説史上の位置に留意しつつ解説します。「名著」を通して、日本社会史研究の流れや学説史の展開などを確認していきます。
到達目標	日本史学の「名著」と学説の内容を正しく理解するとともに、自分の力で学術書を読みこなし、かつ書評する能力を身につける。
教科書と準備するもの	夏目琢史『名著から読み解く日本社会史』（ミネルヴァ書房、2018年）
参考書	適宜指示します。
評価の基準	日本史学の「名著」と学説の内容を正しく理解するとともに、自分の力で学術書を読みこなし、かつ書評する能力を身につけたかどうかで総合的に評価する。
具体的評価方法	授業への参加貢献度（50%）と期末レポート（50%）
実務経験教員による授業科目	ありません。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	【授業評価アンケート/フィードバック】 少人数の授業ですので、個々の院生の要望を伺いつつ、授業を展開していきます。 【受講生へメッセージ】 日本近世史を専門としない院生も、積極的に参加してください。
単位互換	
特記	ありません。

## 授業計画

第1回	内容	ガイダンス～歴史とは何か？～	第16回	内容	渡辺尚志『百姓の力』を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	日本史の基礎的な知識を確認しておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説（近世）の知識について予習しておくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第2回	内容	江上波夫『騎馬民族国家』を読む	第17回	内容	若尾政希『太平記読みの時代』を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説（古代）の知識について予習しておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説（近世）の知識について予習しておくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第3回	内容	益田勝美『火山列島の思想』を読む	第18回	内容	山口啓二『鎖国と開国』を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説（古代）の知識について予習しておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説（近世）の知識について予習しておくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第4回	内容	西郷信綱『古代人と夢』を読む	第19回	内容	深谷克己『百姓成立』を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説（古代）の知識について予習しておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説（近世）の知識について予習しておくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第5回	内容	高取正男『神道の成立』を読む	第20回	内容	佐々木潤之介『世直し』を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説（古代）の知識について予習しておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説（近世）の知識について予習しておくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第6回	内容	石母田正『中世的世界の形成』を読む	第21回	内容	安丸良夫『日本の近代化と民衆思想』を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説（古代）の知識について予習しておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説（近世）の知識について予習しておくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第7回	内容	清水三男『日本中世の村落』を読む	第22回	内容	時代小説をどう読むか？
	授業時間外における学修（予習・復習等）	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説（中世）の知識について予習しておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説（近世）の知識について予習しておくこと。

	習等)			習等)	
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第8回	内容	井上鋭夫『山の民 川の民』を読む	第23回	内容	遠山茂樹『明治維新』を読む
	授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(中世)の知識について予習しておくこと。		授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(近代)の知識について予習しておくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第9回	内容	平泉澄『中世に於ける社寺と社会との関係』を読む	第24回	内容	色川大吉『明治精神史』を読む
	授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(中世)の知識について予習しておくこと。		授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(近代)の知識について予習しておくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第10回	内容	網野善彦『無縁・公界・楽』を読む	第25回	内容	鹿野政直『日本近代化の思想』を読む
	授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(中世)の知識について予習しておくこと。		授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(近代)の知識について予習しておくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第11回	内容	永原慶二『荘園』を読む	第26回	内容	松尾尊寛『大正デモクラシー』を読む
	授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(中世)の知識について予習しておくこと。		授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(近代)の知識について予習しておくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第12回	内容	安良城盛昭『日本封建社会成立史論』を読む	第27回	内容	大江志乃夫『徴兵制』を読む
	授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(中世)の知識について予習しておくこと。		授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(近代)の知識について予習しておくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第13回	内容	藤木久志『雑兵たちの戦場』を読む	第28回	内容	中村政則『労働者と農民』を読む
	授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(中世)の知識について予習しておくこと。		授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(近代)の知識について予習しておくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第14回	内容	勝侯鎮夫『戦国時代論』を読む	第29回	内容	冢永三郎『太平洋戦争』を読む
	授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(中世)の知識について予習しておくこと。		授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(近代)の知識について予習しておくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第15回	内容	辻善之助『田沼時代』を読む	第30回	内容	『昭和史』を読む
	授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(近世)の知識について予習しておくこと。		授業時間外における学修(予習・復習等)	高校・大学の教科書等を読み、日本史概説(近代)の知識について予習しておくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。

## Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

## 概要

対象年度	年度	2020	期	(週17)通年	開講時限	月7
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071029100	科目ナンバー				
授業名	日本史学演習3 I					
英文授業名	Seminar on Japanese History 3 I					
担当教員	勝田 政治					

授業形態	演習	
	e-learning利用	その他：
担当形態	単独	
関連する授業	ありません。	
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	ありません。
	後続関連授業	日本史学演習3 II
教職課程科目		
テーマ・キーワード	修士論文の作成に向けて	

授業の概要・ねらい	修士論文作成の指導。受講生の修士論文の中間報告にたいし、論評をおこなう。
到達目標	修士論文作成の準備。
教科書と準備するもの	なし。
参考書	なし。
評価の基準	報告が修士論文作成に向けた準備としての内容に相応しいものとなっているか否かを基準とする。
具体的評価方法	報告内容。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	授業評価アンケート結果を授業に反映させます。
単位互換	
特記	ありません

## 授業計画

第1回	内容	演習内容のガイダンス。	第16回	内容	修士論文の中間報告。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	ガイダンスなので特になし。		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。
	授業実施特記	なし。		授業実施特記	なし。
第2回	内容	修士論文の中間報告。	第17回	内容	修士論文の中間報告。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。
	授業実施特記	なし。		授業実施特記	なし。
第3回	内容	修士論文の中間報告。	第18回	内容	修士論文の中間報告。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。
	授業実施特記	なし。		授業実施特記	なし。
第4回	内容	修士論文の中間報告。	第19回	内容	修士論文の中間報告。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。
	授業実施特記	なし。		授業実施特記	なし。
第5回	内容	修士論文の中間報告。	第20回	内容	修士論文の中間報告。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。
	授業実施特記	なし。		授業実施特記	なし。
第6回	内容	修士論文の中間報告。	第21回	内容	修士論文の中間報告。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。
	授業実施特記	なし。		授業実施特記	なし。
第7回	内容	修士論文の中間報告。	第22回	内容	修士論文の中間報告。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。
	授業実施特記	なし。		授業実施特記	なし。
第8回	内容	修士論文の中間報告。	第23回	内容	修士論文の中間報告。



## Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

## 概要

対象年度	年度	2020	期	(週17)通年	開講時限	水6
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071029200	科目ナンバー				
授業名	日本史学演習3 II					
英文授業名	Seminar on Japanese History 3 II					
担当教員	勝田 政治					

授業形態	演習	
	e-learning利用	その他：
担当形態	単独	
関連する授業	なし	
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	日本史学演習3 I
	後続関連授業	なし。
教職課程科目		
テーマ・キーワード	修士論文の完成	

授業の概要・ねらい	修士論文完成に向けての院生の研究報告。
到達目標	修士論文の完成。
教科書と準備するもの	なし。
参考書	なし。
評価の基準	報告が修士論文完成の内容に相応しいものとなっているか否かを基準とする。
具体的評価方法	報告内容。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	授業評価アンケート結果を授業に反映させます。修士論文の完成を共に喜びましょう。
単位互換	
特記	なし

## 授業計画

第1回	内容	演習内容のガイダンス	第16回	内容	院生の修士論文準備報告
	授業時間外における学修（予習・復習等）	ガイダンスなので特になし。		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。
	授業実施特記	なし。		授業実施特記	なし。
第2回	内容	院生の修士論文準備報告	第17回	内容	院生の修士論文準備報告
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。
	授業実施特記	なし。		授業実施特記	なし。
第3回	内容	院生の修士論文準備報告	第18回	内容	院生の修士論文準備報告
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。
	授業実施特記	なし。		授業実施特記	なし。
第4回	内容	院生の修士論文準備報告	第19回	内容	院生の修士論文準備報告
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。
	授業実施特記	なし。		授業実施特記	なし。
第5回	内容	院生の修士論文準備報告	第20回	内容	院生の修士論文準備報告
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。
	授業実施特記	なし。		授業実施特記	なし。
第6回	内容	院生の修士論文準備報告	第21回	内容	院生の修士論文準備報告
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。
	授業実施特記	なし。		授業実施特記	なし。
第7回	内容	院生の修士論文準備報告	第22回	内容	院生の修士論文準備報告
	授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	報告者は、事前に報告レジメを作成すること。
	授業実施特記	なし。		授業実施特記	なし。
第8回	内容	院生の修士論文準備報告	第23回	内容	院生の修士論文準備報告



## Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

## 概要

対象年度	年度	2020	期	(週17)通年	開講時限	月6
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071021400	科目ナンバー				
授業名	日本史学講読2					
英文授業名	Readings in Japanese History 2					
担当教員	勝田 政治					

授業形態	講義	
	e-learning利用	その他：
担当形態	単独	
関連する授業	ありません。	
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	ありません。
	後続関連授業	ありません。
教職課程科目		
テーマ・キーワード	明治維新の史料を読む	

授業の概要・ねらい	日本近代史に関する基本史料をテキストとし、それらを徹底的に読み込む作業を通して史料読解力の向上を図ることがねらいです。今年度は明治維新期の史料をテキストとして、学生に分担して読ませます。
到達目標	明治維新期の史料を独自で読解できる力を身に付けることです。。
教科書と準備するもの	史料のコピーを配布します。
参考書	特にありません。
評価の基準	史料を正確に読み解き、その背景を説明できる否かを基準とします。
具体的評価方法	読解力とレポートの内容です。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	授業評価アンケート結果を授業に反映します。明治維新を史料を通して実感しましょう。
単位互換	
特記	ありません

## 授業計画

回数	内容	講義内容の概略説明	回数	内容	講義内容の概略説明
第1回	授業時間外における学修(予習・復習等)	ガイダンスなので特にありません。	第16回	授業時間外における学修(予習・復習等)	維新政府関係史料(1)の講読 指定された史料の内容を事前に調べておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第2回	内容	開国関係史料(1)の講読	第17回	内容	維新政府関係史料(2)の講読
	授業時間外における学修(予習・復習等)	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。		授業時間外における学修(予習・復習等)	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第3回	内容	開国関係史料(2)の講読	第18回	内容	維新政府関係史料(3)の講読
	授業時間外における学修(予習・復習等)	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。		授業時間外における学修(予習・復習等)	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第4回	内容	開国関係史料(3)の講読	第19回	内容	維新政府関係史料(4)の講読
	授業時間外における学修(予習・復習等)	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。		授業時間外における学修(予習・復習等)	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第5回	内容	開国関係史料(4)の講読	第20回	内容	維新政府関係史料(5)の講読
	授業時間外における学修(予習・復習等)	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。		授業時間外における学修(予習・復習等)	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第6回	内容	開国関係史料(5)の講読	第21回	内容	維新政府関係史料(6)の講読
	授業時間外における学修(予習・復習等)	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。		授業時間外における学修(予習・復習等)	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第7回	内容	倒幕運動関係史料(1)の講読	第22回	内容	維新政府関係史料(7)の講読
	授業時間外における学修(予習・復習等)	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。		授業時間外における学修(予習・復習等)	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。おくこと。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第8回	内容	倒幕運動関係史料(2)の講読	第23回	内容	近代化政策関係史料(1)の講読

	授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。		授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第9回	内容	倒幕運動関係史料（3）の講読	第24回	内容	近代化政策関係史料（2）の講読
	授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。		授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第10回	内容	倒幕運動関係史料（4）の講読	第25回	内容	近代化政策関係史料（3）の講読
	授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。		授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第11回	内容	倒幕運動関係史料（5）の講読	第26回	内容	近代化政策関係史料（4）の講読
	授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。		授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第12回	内容	倒幕運動関係史料（6）の講読	第27回	内容	近代化政策関係史料（5）の講読
	授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。		授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第13回	内容	倒幕運動関係史料（7）の講読	第28回	内容	近代化政策関係史料（6）の講読
	授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。		授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第14回	内容	倒幕運動関係史料（8）の講読	第29回	内容	近代化政策関係史料（7）の講読
	授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。		授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。
第15回	内容	倒幕運動関係史料（9）の講読	第30回	内容	近代化政策関係史料（8）の講読
	授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。		授業時間外における学修（予習・復習等）	指定された史料の内容を事前に調べておいてください。
	授業実施特記	ありません。		授業実施特記	ありません。

クリックして表示・非表示切り替え

## 概要

対象年度	年度	2020	期	(週1R)通年	開講時限	水2
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071033100	科目ナンバー				
授業名	日本史学演習4 I					
英文授業名						
担当教員	仁藤 智子					

授業形態	演習、アクティブ・ラーニング		
	e-learning利用	manaba	その他：
担当形態	単独		
関連する授業	日本史学特講1		
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	日本史学特講1	
	後続関連授業	日本史学演習4 II	
教職課程科目			
テーマ・キーワード	日本古代史 六国史 奈良時代 文献史料講読		

授業の概要・ねらい	<p>概要：</p> <p>奈良時代の基礎資料である『続日本紀』をよみ、時代背景や制度の変遷をおさえる。中央と地方の関係に配慮して、国家形成期を文献資料から読み解く。史料の熟覧のために学外研修を予定している。</p> <p>ねらい：</p> <p>日本古代史研究に必要な文献史料を読解する力をやしなひ、研究テーマを深化できるようにする。正確な読解力の養成と理論的実証力の伸長を目指す。</p>
到達目標	<p>①正確に史料が読めるようになる。</p> <p>②史料の内容(語句)などを正確に理解できるようになる。</p> <p>③時代背景や影響について、展望をもって史料を解釈できるようになる。</p>
教科書と準備するもの	<p>プリントを配布するが、以下も参考にしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『国史大系 続日本紀』(吉川弘文館)</li> <li>青木和夫ほか校注 『岩波新古典文学大系 続日本紀』</li> <li>直木幸次郎訳『東洋文庫 続日本紀』</li> <li>井上光貞ほか校注 『岩波思想体系 律令』</li> <li>木簡学会編『日本古代木簡選』(岩波書店) など。</li> </ul>
参考書	<p>全体については</p> <p>遠藤慶太『六国史』(中公新書)</p> <p>佐藤信編『古代史講義』(ちくま新書) など。</p>
評価の基準	<p>①正確に史料が読めるか(読解力)</p> <p>②史料の内容(語句)などを正確に理解できるか(理解力)</p> <p>③時代背景や影響について、展望をもって史料を解釈しているか(理論的実証力)を評価基準とする。</p>
具体的評価方法	<p>演習での口頭報告 60%</p> <p>レポートや課題 40%</p>
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	<p>アンケートの結果を受け止め、学生の学力意識向上に努めたい。</p> <p>受講生への連絡はmanabaを利用する。授業で配布した資料などはアップするので、復習に役立ててほしい。</p>
単位互換	
特記	史料熟覧のために学外研修を予定している。

## 授業計画

第1回	内容	ガイダンス 六国史とは何か	第16回	内容	木簡の諸形態 木簡とは何か？
	授業時間外における学修(予習・復習等)	(予習) 坂本太郎『六国史』(吉川弘文館)・遠藤慶太『六国史』(中公新書)などを読んで、理解を深めよう。(以下、すべて90分)		授業時間外における学修(予習・復習等)	(予習) 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 (復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
第2回	授業実施特記	特になし	第17回	授業実施特記	
	内容	続日本紀の編纂過程について		内容	木簡の諸様式
	授業時間外における学修(予習・復習等)	(予習) 笹山晴生「続日本紀の編纂過程」(『岩波新古典文学大系 続日本紀』所収)を読んで、まとめてみよう。 疑問に思ったところをメモしておこう。 (復習) 『続日本紀』以外の五国史はどうであったのか、比較してみよう。		授業時間外における学修(予習・復習等)	(予習) 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 (復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しを



第10回	内容	『統日本紀』の講読（8） 文武二年八月～十月条	第25回	内容	『統日本紀』の講読（20） 文武四年三月条（前半）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	
第11回	内容	『統日本紀』の講読（9） 文武二年十一月～十二月条。	第26回	内容	『統日本紀』の講読（21） 文武四年三月条（後半）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	
第12回	内容	『統日本紀』の講読（10） 文武三年正月～二月条	第27回	内容	『統日本紀』の講読（22） 文武四年三月条（総括）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	
第13回	内容	『統日本紀』の講読（11） 文武三年三月～四月条	第28回	内容	『統日本紀』の講読（23） 文武四年四月～七月条
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	
第14回	内容	『統日本紀』の講読（12） 文武三年五月条（前半）坂上老	第29回	内容	学外研修 国立歴史民俗博物館にて史料の熟覧
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	学外にて史料の熟覧を予定しているが、双方の都合上、日時については後日連絡する。
第15回	内容	『統日本紀』の講読（13） 文武三年五月条（後半）役小角	第30回	内容	まとめ 古代史論文の書き方
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修（予習・復習等）	自分の研究テーマに即して、『統日本紀』を使って小論文を書いてみよう。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	

クリックして表示・非表示切り替え

## 概要

対象年度	年度	2020	期	(週11R)通年	開講時限	水3
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071033200	科目ナンバー				
授業名	日本史学演習 4 II					
英文授業名						
担当教員	仁藤 智子					

授業形態	講義、演習、アクティブ・ラーニング		
	e-learning利用	manaba	その他：
担当形態	単独		
関連する授業	日本史学特講1		
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	日本史学演習4 I 日本史学特講1	
	後続関連授業	なし	
教職課程科目			
テーマ・キーワード	日本古代史 六国史 平安時代 文献史料講読 入唐五家伝		

授業の概要・ねらい	<p>概要： 平安時代に中国にわたった僧侶たちの史料である『入唐五家伝』をよみ、時代背景や制度の変遷をおさえる。 日本と東アジア諸国の関係に配慮して、国家展開期を文献資料から読み解く。 史料の熟覧のために学外研修を予定している。</p> <p>ねらい： 日本古代史研究に必要な文献史料を読解する力をやしなひ、研究テーマを深化できるようにする。 正確な読解力の養成と理論的実証力の伸長を目指す。</p>
到達目標	<p>①正確に史料が読めるようになる。 ②史料の内容(語句)などを正確に理解できるようになる。 ③時代背景や影響について、展望をもって史料を解釈できるようになる。</p>
教科書と準備するもの	<p>プリントを配布する。 鈴木靖民ほか『日本古代交流史入門』（勉誠出版、3800円）。</p>
参考書	佐藤長門編『遣唐使と入唐僧の研究』（高志書院、9500円）など。
評価の基準	<p>①正確に史料が読めるか（読解力） ②史料の内容(語句)などを正確に理解できるか（理解力） ③時代背景や影響について、展望をもって史料を解釈しているか（理論的実証力） を評価基準とする。</p>
具体的評価方法	<p>演習での口頭報告 60% レポートや課題 40%</p>
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	アンケートの結果を受け止め、学生の学力意識向上に努めたい。 受講生への連絡はmanabaを利用する。授業で配布した資料などはアップするので、復習に役立ててほしい。
単位互換	
特記	史料熟覧のために学外研修を予定している。

## 授業計画

第1回	内容	ガイダンス 対外関係史・国際交流史をどのように考えるか	第16回	内容	『入唐五家伝』の読解 (5) 真如親王入唐略記を読む
	授業時間外における学修(予習・復習等)	(予習) 鈴木靖民ほか『日本古代交流史入門』（勉誠出版、3800円）の総論(田中論文・李論文)を読んで、要点をまとめておこう。(以下、すべて90分) (復習) 授業内容をふまえて、関係論文を読んでみよう。(以下、すべて90分)		授業時間外における学修(予習・復習等)	(予習) 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 (復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記	鈴木靖民ほか『日本古代交流史入門』（勉誠出版、3800円）を使用する。		授業実施特記	
第2回	内容	3世紀から7世紀の対外関係・交流史を考える	第17回	内容	『入唐五家伝』の読解 (6) 真如親王入唐略記を読む
	授業時間外における学修(予習・復習等)	(予習) 鈴木靖民ほか『日本古代交流史入門』（勉誠出版、3800円）の通史(3～7世紀の名論文)を読んで、要点をまとめておこう。 (復習) 授業内容をふまえて、関係論文を読んでみよう。		授業時間外における学修(予習・復習等)	(予習) 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 (復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記			授業実施特記	
第3回	内容	7世紀から9世紀の対外関係・交流史を考える	第18回	内容	『入唐五家伝』の読解 (7) 真如親王入唐略記を読む

	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 鈴木靖民ほか『日本古代交流史入門』（勉誠出版、3800円）の通史（7～9世紀の各論文）を読んで、要点をまとめておこう。 （復習） 授業内容をふまえて、関係論文を読んでみよう。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記			授業実施特記	
第4回	内容	9世紀から11世紀の対外関係・交流史を考える	第19回	内容	『入唐五家伝』の読解（8） 真如親王入唐略記を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 鈴木靖民ほか『日本古代交流史入門』（勉誠出版、3800円）の通史（9～11世紀の各論文）を読んで、要点をまとめておこう。 （復習） 授業内容をふまえて、関係論文を読んでみよう。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記			授業実施特記	
第5回	内容	交流を示す木簡・石碑・正倉院宝物・陶磁器・書籍・唐物を考える	第20回	内容	『入唐五家伝』の読解（9） 真如親王入唐略記を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 鈴木靖民ほか『日本古代交流史入門』（勉誠出版、3800円）の通史（交流を示すモノたちの各論文）を読んで、要点をまとめておこう。 （復習） 授業内容をふまえて、関係論文を読んでみよう。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記			授業実施特記	
第6回	内容	『入唐五家伝』の読解（1） 安祥寺恵運伝を読む	第21回	内容	『入唐五家伝』の読解（10） 真如親王入唐略記を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記			授業実施特記	
第7回	内容	『入唐五家伝』の読解（2） 安祥寺恵運伝を読む	第22回	内容	『入唐五家伝』の読解（3-1） 禪林寺僧正伝を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記			授業実施特記	
第8回	内容	『入唐五家伝』の読解（3） 安祥寺恵運伝を読む	第23回	内容	『入唐五家伝』の読解（2） 禪林寺僧正伝を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記			授業実施特記	
第9回	内容	『入唐五家伝』の読解（4） 安祥寺恵運伝を読む	第24回	内容	『入唐五家伝』の読解（3） 禪林寺僧正伝を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 （復習） 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記			授業実施特記	
第10回	内容	『入唐五家伝』の読解（5） 安祥寺恵運伝を読む	第25回	内容	『入唐五家伝』の読解（4） 禪林寺僧正伝を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習） 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。

		(復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。			(復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記			授業実施特記	
第11回	内容	『入唐五家伝』の読解 (6) 安祥寺恵運伝を読む	第26回	内容	『入唐五家伝』の読解 (5) 禪林寺僧正伝を読む
	授業時間外における学修 (予習・復習等)	(予習) 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 (復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修 (予習・復習等)	(予習) 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 (復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記			授業実施特記	
第12回	内容	『入唐五家伝』の読解 (2-1) 真如親王入唐略記を読む	第27回	内容	『入唐五家伝』の読解 (6) 禪林寺僧正伝を読む
	授業時間外における学修 (予習・復習等)	(予習) 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 (復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修 (予習・復習等)	(予習) 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 (復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記			授業実施特記	
第13回	内容	『入唐五家伝』の読解 (2) 真如親王入唐略記を読む	第28回	内容	『入唐五家伝』の読解 (7) 禪林寺僧正伝を読む
	授業時間外における学修 (予習・復習等)	(予習) 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 (復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修 (予習・復習等)	(予習) 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 (復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。
	授業実施特記			授業実施特記	
第14回	内容	『入唐五家伝』の読解 (3) 真如親王入唐略記を読む	第29回	内容	学外研修 国立歴史民俗博物館にて史料の熟覧 授業時間外における
	授業時間外における学修 (予習・復習等)	(予習) 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 (復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修 (予習・復習等)	(予習) 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 (復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。
	授業実施特記			授業実施特記	学外にて史料の熟覧を予定しているが、双方の都合上、日時については後日連絡する。
第15回	内容	『入唐五家伝』の読解 (4) 真如親王入唐略記を読む	第30回	内容	まとめ 古代史の論文の書き方
	授業時間外における学修 (予習・復習等)	(予習) 本日読む史料を読んで、語句や歴史的背景を調査し、レジュメを作成しよう。 疑問点はメモをしておこう。 (復習) 授業の内容をふまえて、再度史料の読み直しをしておこう。 関連する論文を探して読んでみよう。		授業時間外における学修 (予習・復習等)	自分の研究テーマに即して、『入唐五家伝』を使って小論文を書いてみよう。
	授業実施特記			授業実施特記	

## Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

## 概要

対象年度	年度	2020	期	(週17)通年	開講時限	火2
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071021700	科目ナンバー				
授業名	日本史学特論 1					
英文授業名	Special Studies in Japanese History 1					
担当教員	仁藤 智子					

授業形態	講義、アクティブ・ラーニング	
	e-learning利用	その他：
担当形態	単独	
関連する授業	日本史学演習 4 I	
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	特になし
	後続関連授業	特になし
教職課程科目		
テーマ・キーワード	日本史 世界史 古代史	

授業の概要・ねらい	<p>概要)</p> <p>歴史学を学ぶ上で大切なことは、一つの時代、一つの地域の歴史的事象をどれだけ普遍化して論じることができるかということである。そこで、テーマ学習と時代別学習を組み合わせ考えてみたい。</p> <p>前半は、大王の登場から現代まで、皇位継承をテーマに通時代、全世界的に考えてみたい。</p> <p>後半は、日本古代史を概観する。</p> <p>講義科目ではあるが、アクティブラーニングを取り入れて、双方向的な授業構築を目指したい。</p> <p>ねらい)</p> <p>前半は、一つのテーマを全世界的、全時代的に追うことによって見えてくる時代性、地域性、宗教性を捉えることをねらいにしたい。</p> <p>後半は、日本古代国家の形成と展開過程についての知見を得ることをねらいにしたい。</p>
到達目標	歴史学研究に必要な知見を習得し、研究テーマを深化できるようにする。
教科書と準備するもの	<p>教科書は、歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』（績文堂・定価2800円）と佐藤信編『古代史講義』（ちくま新書・定価880円）、『（仮）日本史概説』（北樹出版、2020年春公刊予定）を用いる。</p> <p>必要に応じてプリントについては配布する。</p> <p>論点整理・小レポート用の様式はmanabaに載せておく。</p>
参考書	<p>テキストにする歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』（績文堂・定価2800円）と佐藤信編『古代史講義』（ちくま新書・定価880円）、『（仮）日本史概説』（北樹出版）には、もっと学びたい人のための参考文献が記載されているので、それらを参考書としてほしい。</p>
評価の基準	<p>①歴史学研究に必要な知識を習得できたか（見識力）</p> <p>②自分なりの研究視角や見解をもつ、歴史的背景を理解できたか（理解力）</p> <p>③論点を整理して、口頭報告できるか（プレゼンテーション能力）</p> <p>④上記に裏付けられた記述がレポートとしてできるか（表現力）</p>
具体的評価方法	課題（レポート40% 口頭報告60%） 100%
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	<p>アンケートの指摘を受けて、次回以降の講義にフィードバックする。</p> <p>他分野の学生に理解できるよう、丁寧に授業を展開するよう心がける。</p> <p>疑問があれば、いつでも受け付ける。受講生への連絡はmanabaを利用する。授業で配布した資料などはアップするので、復習に役立ててほしい。</p>
単位互換	
特記	特になし

## 授業計画

第1回	内容	<p>ガイダンス</p> <p>歴史学とは何か。</p> <p>日本古代史を学ぶために、どんな力が必要とされるか。</p>	第16回	内容	<p>テキストを『古代史講義』として、輪読と講義を行う</p> <p>1 邪馬台国から古墳の時代へ 邪馬台国論争と東アジア交易圏 弥生時代における国内の交易システム</p>
	授業時間外における学修（予習・復習等）	<p>予習）歴史学研究に必要なリファレンス類をピックアップしておくこと（60分）。</p> <p>復習）ジャパンナレッジ等データベースの使用法を身につけて、課題テーマを検索して小レポートを作成する（120分）。</p>		授業時間外における学修（予習・復習等）	<p>予習）佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう（90分）</p> <p>復習）授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう（90分）</p>
	授業実施特記	<p>テキストとして歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』（績文堂、2800円）を使う。</p>		授業実施特記	<p>テキストとして佐藤信編『古代史講義』（ちくま新書・定価880円）を使う。</p>
第2回	内容	<p>歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の輪読と講義</p> <p>(1) 荒木論文・日本古代</p>	第17回	内容	<p>2 倭の大王と地方豪族 古墳の形成とヤマト王権・大王 大王権力の確立と支配システム</p>
	授業時間外における学修（予習・復習等）	<p>予習）歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう（90分）</p>		授業時間外における学修（予習・復習等）	<p>予習）佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう（90分）</p> <p>復習）授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう（90分）</p>

		復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)			
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第3回	内容	歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の輪読と講義 (2) 仁藤論文・日本古代	第18回	内容	3 蘇我氏とヤマト王権 蘇我氏の台頭と推古朝 舒明・皇極朝と蘇我氏
	授業時間外における学修 (予習・復習等)	予習) 歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう (90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)		授業時間外における学修 (予習・復習等)	予習) 佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう (90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第4回	内容	歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の輪読と講義 (3) 新田論文・日本中世	第19回	内容	4 飛鳥・藤原時代と東アジア 乙巳の変から百濟出兵
	授業時間外における学修 (予習・復習等)	予習) 歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう (90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)		授業時間外における学修 (予習・復習等)	予習) 佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう (90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第5回	内容	歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の輪読と講義 (4) 池論文・日本中世	第20回	内容	5 平城京の実像 都城成立史 発掘と出土品による新たな歴史像
	授業時間外における学修 (予習・復習等)	予習) 歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう (90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)		授業時間外における学修 (予習・復習等)	予習) 佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう (90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第6回	内容	歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の輪読と講義 (5) 藤田論文・日本近世	第21回	内容	6 奈良時代の争乱 長屋王の変から藤原広嗣の乱まで 橘奈良麻呂の変から惠美押勝の乱まで
	授業時間外における学修 (予習・復習等)	予習) 歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう (90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)		授業時間外における学修 (予習・復習等)	予習) 佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう (90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第7回	内容	歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の輪読と講義 (6) 西川論文・日本近代	第22回	内容	7 地方官衙と地方豪族 中央政府と地方官衙 文書行政や祭祀の在り方
	授業時間外における学修 (予習・復習等)	予習) 歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう (90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)		授業時間外における学修 (予習・復習等)	予習) 佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう (90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第8回	内容	歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の輪読と講義 (7) 加藤論文・日本近代	第23回	内容	8 行政文書としての正倉院文書 受領と地方社会 (1) 受領の実態とその役目
	授業時間外における学修 (予習・復習等)	予習) 歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう (90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)		授業時間外における学修 (予習・復習等)	予習) 佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう (90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第9回	内容	歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の輪読と講義 (8) 中西論文・日本近現代	第24回	内容	9 遣唐使と天平文化 外交使節に課せられた役目 文物の受容に見る国際性
	授業時間外における学修 (予習・復習等)	予習) 歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう (90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)		授業時間外における学修 (予習・復習等)	予習) 佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう (90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう (90分)
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし

第10回	内容	歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の輪読と講義 (9) 金子論文・アジア古代中世	第25回	内容	1 0 平安遷都と対蝦夷戦争 桓武の登場と蝦夷戦争 山背遷都論の行方
	授業時間外における学修(予習・復習等)	予習) 歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう(90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう(90分)		授業時間外における学修(予習・復習等)	予習) 佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう(90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう(90分)
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第11回	内容	歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の輪読と講義 (10) 中澤論文・東ヨーロッパ中世・近世	第26回	内容	1 1 平安京の成熟と都市王権の展開 平安初期の政治基調 平城上皇の変・承和の変・応天門の変
	授業時間外における学修(予習・復習等)	予習) 歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう(90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう(90分)		授業時間外における学修(予習・復習等)	予習) 佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう(90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう(90分)
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第12回	内容	歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の輪読と講義 (11) アジアのコラム	第27回	内容	1 2 摂関政治の実像 摂関政治とはどのように生まれてきたのか? 1 3 受領と地方政治 国衙領の形成と地方官人
	授業時間外における学修(予習・復習等)	予習) 歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう(90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう(90分)		授業時間外における学修(予習・復習等)	予習) 佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう(90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう(90分)
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第13回	内容	歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の輪読と講義 (12) ヨーロッパのコラム	第28回	内容	1 4 平将門・藤原純友の乱の再検討 見直される10世紀史 藤原純友の乱の再検討
	授業時間外における学修(予習・復習等)	予習) 歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう(90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう(90分)		授業時間外における学修(予習・復習等)	予習) 佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう(90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう(90分)
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第14回	内容	歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』を読んで考えたことを議論しよう	第29回	内容	1 5 平泉と州藤原氏 奥州藤原氏の独立性 アジールとしての平泉 都市平泉の形成
	授業時間外における学修(予習・復習等)	予習) 歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう(90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう(90分)		授業時間外における学修(予習・復習等)	予習) 佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう(90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう(90分)
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第15回	内容	歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の通読を通して、歴史学の在り方を考えてみよう。	第30回	内容	まとめ 日本列島における古代とはどんな時代であったか、『古代史講義』を読んで考えた論点を議論してみよう。
	授業時間外における学修(予習・復習等)	予習) 歴史学研究会編『天皇はいかに受け継がれたのか-天皇の身体と皇位継承』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう(90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう(90分)		授業時間外における学修(予習・復習等)	予習) 佐藤信編『古代史講義』の指定された論文を読んで、論点をメモしておこう(90分) 復習) 授業を受けて考えたことをまとめて、小レポートを作成しよう(90分)
	授業実施特記	期日までにレポート提出		授業実施特記	期日までにレポートを提出。

クリックして表示・非表示切り替え

## 概要

対象年度	年度	2020	期	(週1R)通年	開講時限	火4
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071021900	科目ナンバー				
授業名	日本史学特論 3					
英文授業名	Special Studies in Japanese History 3					
担当教員	久保田 裕次					

授業形態	講義、演習					
	e-learning利用		その他：			
担当形態	単独					
関連する授業	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目					
	後続関連授業					
教職課程科目						
テーマ・キーワード	日本近現代史					

授業の概要・ねらい	基礎的文献の読解を通じて、最新の日本近現代史の研究状況を抑える					
到達目標	最新の研究状況を検討することで、今後の研究の指針とする					
教科書と準備するもの	『岩波講座 日本歴史』第15巻（近現代1）から第18巻（近現代4）（岩波書店、2014～15年）					
参考書	特になし					
評価の基準	授業での報告・発言					
具体的評価方法	文献の内容を正確に理解し、その成果と課題を抑えることができるか					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	受講生の質問や意見を反映させる。受講生は参考文献を読み込んでおくこと					
単位互換						
特記						

## 授業計画

第1回	内容	ガイダンス	第16回	内容	『岩波講座 日本歴史』第17巻の講読①
	授業時間外における学修（予習・復習等）	特になし		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第2回	内容	『岩波講座 日本歴史』第15巻の講読①	第17回	内容	『岩波講座 日本歴史』第17巻の講読②
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第3回	内容	『岩波講座 日本歴史』第15巻の講読②	第18回	内容	『岩波講座 日本歴史』第17巻の講読③
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第4回	内容	『岩波講座 日本歴史』第15巻の講読③	第19回	内容	『岩波講座 日本歴史』第17巻の講読④
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第5回	内容	『岩波講座 日本歴史』第15巻の講読④	第20回	内容	『岩波講座 日本歴史』第17巻の講読⑤
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第6回	内容	『岩波講座 日本歴史』第15巻の講読⑤	第21回	内容	『岩波講座 日本歴史』第17巻の講読⑥
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第7回	内容	『岩波講座 日本歴史』第15巻の講読⑥	第22回	内容	『岩波講座 日本歴史』第17巻の講読⑦
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第8回	内容	『岩波講座 日本歴史』第15巻の講読⑦	第23回	内容	『岩波講座 日本歴史』第18巻の講読①
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと

	習等)			習等)	
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第9回	内容	『岩波講座 日本歴史』第16巻の講読①	第24回	内容	『岩波講座 日本歴史』第18巻の講読②
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第10回	内容	『岩波講座 日本歴史』第16巻の講読②	第25回	内容	『岩波講座 日本歴史』第18巻の講読③
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第11回	内容	『岩波講座 日本歴史』第16巻の講読③	第26回	内容	『岩波講座 日本歴史』第18巻の講読④
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第12回	内容	『岩波講座 日本歴史』第16巻の講読④	第27回	内容	『岩波講座 日本歴史』第18巻の講読⑤
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第13回	内容	『岩波講座 日本歴史』第16巻の講読⑤	第28回	内容	『岩波講座 日本歴史』第18巻の講読⑥
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第14回	内容	『岩波講座 日本歴史』第16巻の講読⑥	第29回	内容	『岩波講座 日本歴史』第18巻の講読⑦
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第15回	内容	『岩波講座 日本歴史』第16巻の講読⑦	第30回	内容	まとめ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの指定箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	これまでに読解した文献を確認しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし

クリックして表示・非表示切り替え

## 概要

対象年度	年度	2020	期	(週1R)通年	開講時限	火5
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071022400	科目ナンバー				
授業名	日本史料学特論2					
英文授業名	Special Studies in Japanese Historical Materials 2					
担当教員	久保田 裕次					

授業形態	講義、演習					
	e-learning利用		その他：			
担当形態	単独					
関連する授業	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目					
	後続関連授業					
教職課程科目						
テーマ・キーワード	近代日本政治外交史					

授業の概要・ねらい	一次史料を読解することを通じて、近代日本政治外交に関する理解を深める					
到達目標	史料の記述内容を正確に読解するとともに、その背景もあわせて理解する					
教科書と準備するもの	政治家もしくは外交官の一次史料の読解。授業中に配布する					
参考書	特になし					
評価の基準	毎回の授業での報告内容や参加度					
具体的評価方法	史料を正確に読解し、史料の歴史的背景を十分に理解をしているか					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	受講生の質問や意見を反映させる。受講生は参考文献を読み込んでおくこと					
単位互換						
特記						

## 授業計画

第1回	内容	ガイダンス	第16回	内容	史料の読解⑤
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの概要を把握しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第2回	内容	史料の読解①	第17回	内容	史料の読解⑥
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第3回	内容	史料の読解②	第18回	内容	史料の読解⑦
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第4回	内容	史料の読解③	第19回	内容	史料の読解⑧
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第5回	内容	史料の読解④	第20回	内容	史料の読解⑨
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第6回	内容	史料の読解⑤	第21回	内容	史料の読解⑩
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第7回	内容	史料の読解⑥	第22回	内容	史料の読解⑪
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第8回	内容	史料の読解⑦	第23回	内容	史料の読解⑫
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと

	習等)			習等)	
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第9回	内容	史料の読解⑧	第24回	内容	史料の読解②③
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第10回	内容	史料の読解⑨	第25回	内容	史料の読解②④
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第11回	内容	史料の読解⑩	第26回	内容	史料の読解②⑤
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第12回	内容	史料の読解⑪	第27回	内容	史料の読解②⑥
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第13回	内容	史料の読解⑫	第28回	内容	史料の読解②⑦
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第14回	内容	史料の読解⑬	第29回	内容	史料の読解②⑧
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第15回	内容	史料の読解⑭	第30回	内容	まとめ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	事前にテキストの該当箇所を読解しておくこと		授業時間外における学修（予習・復習等）	これまでに読解した史料を復習しておくこと
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし

履修コード/科目名称	823001 / 日本史学特講 I 【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	瀧音 能之 (タキオト ヨシユキ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	古代出雲の研究を行います。それを通して院生に古代地域史への理解を深めてもらうように心がけます。		
到達目標(ねらい)	受講生が、出雲を通して、日本の古代史を見渡す力を養成することを目標とします。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容 ガイダンス 準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。 60分
	第 2 回	授業の計画・内容 神話からみた出雲 (1) 準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。 60分
	第 3 回	授業の計画・内容 神話からみた出雲 (2) 準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。 60分
	第 4 回	授業の計画・内容 神話からみた出雲 (3) 準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。 60分
	第 5 回	授業の計画・内容 神話からみた出雲 (4) 準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。 60分
	第 6 回	授業の計画・内容 神話からみた出雲 (5) 準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。 60分
	第 7 回	授業の計画・内容 遺跡からみた古代の出雲 (1) 準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。 60分
	第 8 回	授業の計画・内容 遺跡からみた古代の出雲 (2) 準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。 60分
	第 9 回	授業の計画・内容 遺跡からみた古代の出雲 (3) 準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。 60分
	第 10 回	授業の計画・内容 遺跡からみた古代の出雲 (4) 準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。 60分
	第 11 回	授業の計画・内容 遺跡からみた古代の出雲 (5) 準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。 60分
	第 12 回	授業の計画・内容 古墳からみた古代の出雲 (1) 準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。 60分
	第 13 回	授業の計画・内容 古墳からみた古代の出雲 (2)	

	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	古墳からみた古代の出雲 (3)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	前期の確認	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	出雲国造と古代史 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	出雲国造と古代史 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	出雲国造と古代史 (3)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	出雲国造と古代史 (4)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	出雲大社と古代史 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	出雲大社と古代史 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	出雲大社と古代史 (3)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	出雲大社と古代史 (4)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	出雲大社と古代史 (5)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	現代と出雲大社 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	現代と出雲大社 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	出雲と古代史 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	出雲と古代史 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分
第 29 回	授業の計画・内容	出雲と古代史 (3)	
	準備学習 (予習・復習等)	講義するテーマにあわせて予習を行ってください。	60分

	第 30 回	授業の計画・内容	後期の確認	
		準備学習 (予習・復習等)	復習を行ってください。	60分
履修上の留意点等				
成績評価の方法		試験		
		レポート		
		小テスト		
	100 %	平常点		
教科書/テキスト	第1回目に指示いたします。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索				
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	対象外科目です。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	823021 / 日本史学演習 I 【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	瀧音 能之 (タキオト ヨシユキ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	『扶桑略記』の講読を行います。これによって、受講生が古代の社会について理解を深めると共に、古代の僧侶の思考についても考えるよう指導します。		
到達目標(ねらい)	『扶桑略記』をできる限り丁寧に読み込むことによって、受講生が古代史料の読解法をマスターすることを目指します。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	ガイダンス
		準備学習 (予習・復習等)	報告者は十分に予習をし、他の受講生はそれに対して、質問などを積極的に行ってください。 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	受講生の報告 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	報告者は十分に予習をし、他の受講生はそれに対して、質問などを積極的に行ってください。 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	受講生の報告 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	報告者は十分に予習をし、他の受講生はそれに対して、質問などを積極的に行ってください。 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	受講生の報告 (3)
		準備学習 (予習・復習等)	報告者は十分に予習をし、他の受講生はそれに対して、質問などを積極的に行ってください。 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	受講生の報告 (4)
		準備学習 (予習・復習等)	報告者は十分に予習をし、他の受講生はそれに対して、質問などを積極的に行ってください。 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	受講生の報告 (5)
		準備学習 (予習・復習等)	報告者は十分に予習をし、他の受講生はそれに対して、質問などを積極的に行ってください。 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	受講生の報告 (6)
		準備学習 (予習・復習等)	報告者は十分に予習をし、他の受講生はそれに対して、質問などを積極的に行ってください。 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	受講生の報告 (7)
		準備学習 (予習・復習等)	報告者は十分に予習をし、他の受講生はそれに対して、質問などを積極的に行ってください。 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	受講生の報告 (8)
		準備学習 (予習・復習等)	報告者は十分に予習をし、他の受講生はそれに対して、質問などを積極的に行ってください。 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	受講生の報告 (9)
		準備学習 (予習・復習等)	報告者は十分に予習をし、他の受講生はそれに対して、質問などを積極的に行ってください。 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	受講生の報告 (10)
		準備学習 (予習・復習等)	報告者は十分に予習をし、他の受講生はそれに対して、質問などを積極的に行ってください。 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	受講生の報告 (11)
		準備学習 (予習・復習等)	報告者は十分に予習をし、他の受講生はそれに対して、質問などを積極的に行ってください。 60分
	第 13 回	授業の計画・内容	受講生の報告 (12)



	第 30 回	授業の計画・内容	後期の確認	
		準備学習 (予習・復習等)	十分に復習をしてください。	60分
履修上の留意点等				
成績評価の方法		試験		
		レポート		
		小テスト		
	100 %	平常点		
教科書/テキスト	コピーを使用します。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索				
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	対象外科目です。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	823151 / 日本史学特講IV【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	林 讓 (ハヤシ ユズル)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	<p>本科目は、【講義】と【演習】とを兼ねて実施する。史料から読み解く中世社会を研究するため、鎌倉・南北朝・室町時代を主たる対象として、「花押と筆跡の史料学—モノをみる・モノからみる—」をテーマに、古文書、特に中世武家・宗教文書に関する諸問題に関して講義する。本年度は、中世文書のうちでも、鎌倉幕府を開いた源頼朝が発給した文書を中心とする『島津家文書』、ながらく信濃守護を務めた小笠原氏に伝来した『小笠原文書』、地頭領主から戦国武将へ発展した熊谷氏の『熊谷家文書』、また本学に由縁のある大久保道舟氏編『曹洞宗古文書』上巻・下巻・拾遺(筑摩書房、昭和47年)所収史料などに関する諸問題を小テーマとして設定する。『島津家文書』等の源頼朝文書や『小笠原文書』『熊谷家文書』『醍醐寺文書聖教』『仁和寺史料』、また室町幕府歴代将軍の花押については、先行研究がありながら、十分な検討・研究がなされているとは言いがたい。特に、花押や筆跡、また料紙の紙質など、古文書の形態論的研究については未解決の問題が多い。そこで、写真版・影写本コピーに基づいた研究を進め、上記の課題の可能性を探ることとしたい。</p>		
到達目標(ねらい)	<p>本科目は、人文科学研究科歴史学専攻の学位授与の方針DP1～3に関連が強い。この授業を履修することにより、受講生が、古文書を史料として活用する上での基礎的な態度・技法を身につけられること、各自の修士論文の作成に結びつく実践的な研究能力が養成されることを目標とする。</p>		
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	<p>年度当初は、何故問題にする必要があるかなどの研究史上の問題点を講義し、問題点を認識した上で、事前に配布した『曹洞宗古文書』所収文書や「源頼朝文書」(『島津家文書』)『小笠原文書』『熊谷家文書』『醍醐寺文書聖教』『仁和寺史料』の原本写真版・影写本コピー、及び大判写真フィルムデジタル画像を各自分担して調査し、それに基づいた報告と講義、及び討論を行う。また、上島有氏『中世花押の謎を解く—足利将軍家とその花押—』を素材として、室町幕府歴代将軍の花押について研究する。内容に変更がある場合には、授業内で受講生に伝えるが、おおよそ以下のスケジュールを考えている。</p> <p>導入—問題の所在、研究史の現状—</p>
		準備学習(予習・復習等)	<p>復習として、本講義の内容を確認しておくこと。</p> <p>60分</p>
	第2回	授業の計画・内容	<p>史料とは何か—古文書形態論研究の重要性—</p>
		準備学習(予習・復習等)	<p>予習として、古文書形態論について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。</p> <p>90分</p>
	第3回	授業の計画・内容	<p>文書料紙の分類・観察の方法</p>
		準備学習(予習・復習等)	<p>予習として、文書料紙の分類方法等を調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。</p> <p>90分</p>
	第4回	授業の計画・内容	<p>文書料紙と古文書様式・機能との関係</p>
		準備学習(予習・復習等)	<p>予習として、古文書様式論・機能論について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。</p> <p>90分</p>
	第5回	授業の計画・内容	<p>文書料紙研究の課題</p>
		準備学習(予習・復習等)	<p>予習・復習として、文書料紙の課題について確認しておくこと。</p> <p>90分</p>
	第6回	授業の計画・内容	<p>花押研究の研究史</p>
		準備学習(予習・復習等)	<p>予習として、花押について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。</p> <p>90分</p>
	第7回	授業の計画・内容	<p>自署・草名・花押の分類</p>
		準備学習(予習・復習等)	<p>予習として、自署・草名について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。</p> <p>90分</p>

第 8 回	授業の計画・内容	源頼朝の花押	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、源頼朝とその花押について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 9 回	授業の計画・内容	足利尊氏の花押	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、足利尊氏とその花押について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 10 回	授業の計画・内容	花押研究の重要性とその課題	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、花押研究の重要性について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 11 回	授業の計画・内容	筆跡研究の重要性	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、筆跡研究の重要性について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 12 回	授業の計画・内容	源頼朝文書の右筆	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、源頼朝の右筆について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 13 回	授業の計画・内容	足利尊氏文書の自筆と右筆	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、足利尊氏の自筆文書と右筆について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 14 回	授業の計画・内容	天皇宸翰書状	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、天皇宸翰書状を調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 15 回	授業の計画・内容	前期授業のまとめと課題	
	準備学習 (予習・復習等)	復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 16 回	授業の計画・内容	後期授業のねらい	
	準備学習 (予習・復習等)	復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 17 回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書に関する調査・報告・講義、及び討論その1	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『曹洞宗古文書』所収文書を調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 18 回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書に関する調査・報告・講義、及び討論その2	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『曹洞宗古文書』所収文書を調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 19 回	授業の計画・内容	『島津家文書』の源頼朝文書に関する調査・報告・講義、及び討論その1	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『島津家文書』について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 20 回	授業の計画・内容	『島津家文書』の源頼朝文書に関する調査・報告・講義、及び討論その2	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『島津家文書』について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 21 回	授業の計画・内容	『小笠原文書』の足利尊氏文書に関する調査・報告・講義、及び討論その1	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『小笠原文書』について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 22 回	授業の計画・内容	『小笠原文書』の足利尊氏文書に関する調査・報告・講義、及び討論その2	
	準備学習	予習として、『小笠原文書』について調べておくこと	90分

	(予習・復習等)	、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	
第 23 回	授業の計画・内容	『熊谷家文書』所収文書に関する調査・報告・講義、及び討論その1	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『熊谷家文書』について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 24 回	授業の計画・内容	『熊谷家文書』所収文書に関する調査・報告・講義、及び討論その2	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『熊谷家文書』について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 25 回	授業の計画・内容	『醍醐寺文書聖教』に関する調査・報告・講義、及び討論	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『醍醐寺文書聖教』について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 26 回	授業の計画・内容	『仁和寺史料』に関する調査・報告・講義、及び討論	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『仁和寺史料』について調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 27 回	授業の計画・内容	再び古文書形態論研究の重要性その1	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、古文書形態論について再度調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 28 回	授業の計画・内容	再び古文書形態論研究の重要性その2	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、古文書形態論について再度調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 29 回	授業の計画・内容	再び古文書形態論研究の重要性その3	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、古文書形態論について再度調べておくこと、復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
第 30 回	授業の計画・内容	後期授業のまとめと課題	
	準備学習 (予習・復習等)	復習として、本講義の内容を確認しておくこと。	90分
履修上の留意点等	<p>講義に関する史料・論文等を事前に配布するので、辞書等を利用して調べておくこと。その際には、本学図書館や地域の公共図書館のほか、「ジャパンナレッジ」などのインターネット上の辞書類も活用すること。翌週の講義に関する事前準備にもつながるので、復習を行っておくこと。</p> <p>毎回出席の上、講義内容に関して、必ずノートに筆記すること、声を出して読むこと、わからない文字等は書いて筆順等を認識すること、調査・討論には積極的に参加すること。</p>		
成績評価の方法	試験		
	50 %	レポート	
		小テスト	
	50 %	平常点	
	上記の講義目標の達成度により成績評価を行う。報告の事前準備、授業における積極的な取り組み、前・後期のレポート提出などを判断基準とする。		
教科書/テキスト	<p>大久保道舟氏編『曹洞宗古文書』（筑摩書房、昭和47年）所収文書や、「源頼朝文書」（『島津家文書』）『小笠原文書』『熊谷家文書』『醍醐寺文書聖教』などの活字本・原本写真版・影写本コピーのプリント、大判写真フィルムのデジタル画像を事前に用意し配布するほか、授業においては各自が作成したレジユメを使用する。また、必要に応じて講義に即した史料・文献を配布する。</p>		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	<p>大久保道舟氏編『曹洞宗古文書』上巻・下巻・拾遺（昭和47年、筑摩書房） 相田二郎氏「鎌倉時代に於ける武家古文書の筆蹟」（『相田二郎著作集』一、昭和51年、名著出版）（『日本古文書学論集』六、昭和62年、吉川弘文館）</p>		

	<p>黒川高明氏『源頼朝文書の研究 史料編』（昭和63年、吉川弘文館）  林譲「源頼朝の花押について―その形体変化と治承・寿永年号の使用をめぐって―」  （『東京大学史料編纂所研究紀要』第6号、平成8年）  『信濃史料』（1941～69年、信濃史料刊行会）  『新編信濃史料叢書』第12巻（1975年、信濃史料刊行会）  『東京大学史料編纂所影印叢書・島津家文書 歴代亀鑑・宝鑑』（2007年、東京大学史料編纂所）  『東京大学史料編纂所影印叢書・小笠原文書』（2008年、東京大学史料編纂所）  『熊谷市史』資料編2古代・中世（2013年、埼玉県熊谷市）  『三重県史』資料編古代・中世（平成27年、三重県）  上島有氏『中世花押の謎を解く―足利将軍家とその花押―』（2004年、山川出版社）</p> <p>そのほかの参考文献等については、必要に応じて指示する。</p>
<p>学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について</p>	<p>大学院科目のため、アンケートの対象外である。ただし、受講生の積極的な意見や主体的な取り組みを重視して進めたいと考えている。</p>
<p>関連リンク</p>	
<p>実務経験がある教員による授業科目</p>	
<p>アクティブラーニング型の授業科目</p>	<p>本科目では、ディスカッション・プレゼンテーション（個人）・双方向型授業を実施する。</p>

履修コード/科目名称	823171 / 日本史学演習Ⅳ【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	林 讓 (ハヤシ ユズル)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	<p>本科目は、二つの柱からなる【演習】形態で実施する。一つは、主に鎌倉・南北朝・室町時代の史料をもとに、受講生各自の問題関心に合わせて、史料から読み解く中世社会を研究することにある。具体的には、本学に由縁のある大久保道舟氏編『曹洞宗古文書』上巻・下巻・拾遺（筑摩書房、昭和47年）所収史料などをテキストとして、同書刊行後の調査・研究の進展を踏まえて、受講生が主体的に調査・研究し、その成果を報告し討論を行う。</p> <p>もう一つは、修士論文の中間報告、また主体的・積極的に臨むことが期待されている学内外の各種学会・研究会における研究発表にむけた準備報告など、受講生各自の研究課題に関する報告の「場」とすることにある。報告は、それぞれの進捗状況に合わせて随時行う。そのため、年度途中でのスケジュール変更は大いにあり得る。</p> <p>以上二つの柱について、後掲「授業スケジュール」欄には『曹洞宗古文書』所収文書講読と示している。なお、関係する史料見学・実地調査も行う予定である。</p>		
到達目標(ねらい)	<p>本科目は、人文科学研究科歴史学専攻の学位授与の方針DP1～3に関連が強い。本科目を履修することにより、研究者の入り口に立つ大学院生としての相応しい研究能力を育み、自らを鍛え着実に研究成果を蓄積していく姿勢が形成されること、また学内外の各種学会・研究会や調査活動への主体的・積極的な参加を通じて、多くの研究者と分野・専門領域を超えて交流すること、その結果として、社会で活躍する専門的な研究能力が養成されることを目標とする。</p>		
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	<p>まず、何故問題にする必要があるかなどの研究史上の問題点を認識した上で、事前に配布した『曹洞宗古文書』所収文書（特に「永光寺文書」を取り上げる）等の活字本・原本写真版・影写本コピーを各自分担し、『曹洞宗文化財調査目録解題集』や該当する地域の自治体史などを併せて調査し、それに基づいた報告及び討論を行う。</p> <p>導入一問題の所在、研究史の現状一</p>
		準備学習 (予習・復習等)	<p>予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。</p> <p>90分</p>
	第2回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書講読その1
		準備学習 (予習・復習等)	<p>予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。</p> <p>90分</p>
	第3回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書講読その2
		準備学習 (予習・復習等)	<p>予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。</p> <p>90分</p>
	第4回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書講読その3
		準備学習 (予習・復習等)	<p>予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。</p> <p>90分</p>
	第5回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書講読その4
		準備学習 (予習・復習等)	<p>予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。</p> <p>90分</p>
	第6回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書講読その5
		準備学習 (予習・復習等)	<p>予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。</p> <p>90分</p>
	第7回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書講読その6



	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。	90分
第 22 回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書講読その19	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。	90分
第 23 回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書講読その20	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。	90分
第 24 回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書講読その21	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。	90分
第 25 回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書講読その22	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。	90分
第 26 回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書講読その23	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。	90分
第 27 回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書講読その24	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。	90分
第 28 回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書講読その25	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。	90分
第 29 回	授業の計画・内容	『曹洞宗古文書』所収文書講読その26	
	準備学習 (予習・復習等)	予習として、『曹洞宗古文書』所収文書について調べておくこと、復習として、本講義に内容を確認しておくこと。	90分
第 30 回	授業の計画・内容	後期授業のまとめと課題	
	準備学習 (予習・復習等)	予習・復習として、本講義に内容を確認しておくこと。	60分
履修上の留意点等	<p>受講生各自の研究テーマを基本とし、その問題関心から『曹洞宗古文書』所収文書、並びに研究の進展を反映した各種史料集を併せ読むことが、自らの研究成果に反映することを想定している。毎回出席の上、必ずノートに筆記すること、声を出して読むこと、わからない文字等は書いて筆順等を認識すること、調査・討論には主体的・積極的に参加することを期待する。</p> <p>講義に関する史料等を事前に配布するので、関連史料・先行文献・辞書等を利用して調べておくこと。その際には、本学図書館や地域の公共図書館のほか、「ジャパンナレッジ」「データベース」などのインターネット上の辞書類も活用すること。翌週の講義に関する事前準備にもつながるので、復習を行っておくこと。</p>		
成績評価の方法	試験		
	50 %	レポート	
		小テスト	
	50 %	平常点	

		上記の講義目標の達成度により成績評価を行う。報告の事前準備、授業における積極的な取り組み、前・後期のレポート提出などを判断基準とする。
教科書/テキスト		大久保道舟氏編『曹洞宗古文書』（筑摩書房、昭和47年）所収文書等の活字本・原本写真版・影写本コピーに関しては、事前にプリントを用意し配布するほか、授業においては各自が作成したレジユメを使用する。また、必要に応じて関連する史料・文献等を配布する。
参考書 ▶ 図書館蔵書検索		大久保道舟氏編『曹洞宗古文書』上巻・下巻・拾遺（昭和47年、筑摩書房） 曹洞宗文化財調査委員会編集『曹洞宗文化財調査目録解題集』全8巻（1991～2018年、曹洞宗宗務所） 該当する地域の県史・市町村史（史料編・通史編等）・博物館展示図録 東京大学史料編纂所データベース（例えば、古文書ユニオンカタログ）  そのほかの参考文献等については、必要に応じて指示する。
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について		大学院科目のため、アンケートは対象外である。ただし、受講生の積極的な意見や主体的な取り組みを重視して進めたいと考えている。
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		
アクティブラーニング型の授業科目		本科目では、ディスカッション・プレゼンテーション（個人）・双方向型授業を実施する。

履修コード/科目名称	823201 / 日本史学特講Ⅴ【講義】	
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限
単位数	4	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	中野 達哉 (ナカノ タツヤ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	<p>近世において、江戸は日本の首府、総城下町となったが、御府内といわれる江戸の町だけで存続し得たのではなく、それをとりまく江戸周辺の村々が、物・人・土地を江戸や江戸城に供給し補完することによって機能することができた。また、江戸周辺地域の村々も江戸と結びつくことによって他には見られない固有の展開を見せた。そして、江戸は、多様な武家と町人・百姓が混在する都市となった。</p> <p>この江戸の社会の様子を弘前藩が作成した江戸藩邸の記録「弘前藩庁日記（江戸）」から読み解く。</p>	
到達目標(ねらい)	本講義では、江戸の藩邸の記録「弘前藩庁日記（江戸）」をテキストにして、江戸・江戸周辺地域社会について考えることを目的とするとともに、古文書を読む力、正確な読解力をつけることを目的とする。	
授業スケジュール	<p>「弘前藩庁日記（江戸）」を講読する。まず、近世文書の読み方についての指導からはじめ、さらに講読した記事の内容について解説し、あるいは受講生に調べてもらう。予習していただくことを前提に授業を進める。</p> <p>第1回 授業についてのガイダンス  第2回 弘前藩の江戸屋敷と本所深川地域についての概説  第3回 藩日記と日記役について  第4回～第28回 享保期「弘前藩庁日記（江戸）」の講読と解説  なお、進度は受講者に合わせる。</p> <p>また、10月初め頃に4日間程度、授業の一環として長野県佐久市において史料調査実習（合宿）を行う（第29・30回分、課題授業として実施）。必ず参加すること。</p>	
履修上の留意点等	史料調査実習は必ず参加すること、課題授業として実施する。	
成績評価の方法	試験	
	レポート	
	小テスト	
	100 % 平常点	
教科書/テキスト	教科書はなし。テキスト「弘前藩庁日記（江戸）」は講読対象部分をコピーして配布する。	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	中野達哉『江戸の武家社会と百姓・町人』（岩田書院 2014年）	
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため対象外。	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		
アクティブラーニング型の授業科目		

履修コード/科目名称	823221 / 日本史学演習V【演習】	
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限
単位数	4	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	中野 達哉 (ナカノ タツヤ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	日本近世の政治・社会・経済・寺社・文化・地域などについて、受講生の問題関心に関わるテーマを取り上げ、授業を行う。	
到達目標(ねらい)	修士論文を書くための資料の調査方法と解読・分析力、論理的な考察力、論述する力をつけ、より充実した修士論文を書けるようになることを目標とする。	
授業スケジュール	<p>受講者の問題関心に沿ったテーマを設け、受講者の発表を中心に授業を進める。研究史の整理と評価、受講者の調査・研究の両面から、そのテーマについて考える。          なお、9月末～10月初め頃に、4日程度史料調査実習(合宿)を実施する。</p> <p>第1回 授業についてのオリエンテーション。前期発表順の決定。          第2～12回 個人研究発表と討論。          第13回 史料調査実習(合宿)についての打ち合わせ。          第14～17回 史料調査実習(佐久市望月にて実施、課題授業として実施予定)。          第18回(後期初回) 後期発表順の決定。          第19～30回 個人研究発表と討論。</p>	
履修上の留意点等	史料調査実習は必ず参加すること。	
成績評価の方法		試験
		レポート
		小テスト
	100 %	平常点
	授業での平常点および史料調査実習での取り組みにより評価する。年度末レポートなどは課さない。	
教科書/テキスト	教科書はなし。	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため対象外。	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		
アクティブラーニング型の授業科目		

履修コード/科目名称	823251 / 日本史学特講VI【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	菅野 洋介 (カンノ ヨウスケ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	本講義では、日本近世における宗教と社会の問題を中心に講述する。本年は、主に羽黒修験を題材として、現状の東北史研究のあり方を取り上げる。また東北史を広げる意味で、常陸と東北の歴史的つながりも考えていきたい。この他、受講生に応じて史料閲覧やフィールドワークなども行い、研究の分析視角を教授したい。		
到達目標(ねらい)	講義をつうじて、現状の近世史研究の課題を捉えることを主な目標にする。また受講者が新たな分析視角を獲得できるように努める。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	ガイダンス～講義で取り上げる内容の紹介～
		準備学習 (予習・復習等)	中近世移行期の政治史研究について予習をしておく。 羽黒山周辺の地名辞典の内容などを確認しておく。
	第 2 回	授業の計画・内容	基本文献の講読及び解説①
		準備学習 (予習・復習等)	指定した文献を読み込んで、評価点と課題点を明示できるようにしておく。
	第 3 回	授業の計画・内容	基本文献の講読及び解説②
		準備学習 (予習・復習等)	指定した文献を読み込んで、評価点と課題点を明示できるようにしておく。
	第 4 回	授業の計画・内容	基本文献の講読及び解説③
		準備学習 (予習・復習等)	指定した文献を読み込んで、評価点と課題点を明示できるようにしておく。
	第 5 回	授業の計画・内容	基本文献の講読及び解説④
		準備学習 (予習・復習等)	指定した文献を読み込んで、評価点と課題点を明示できるようにしておく。
	第 6 回	授業の計画・内容	フィールド調査及び解説①
		準備学習 (予習・復習等)	指定した博物館展示を見学しておく。それを通じて、解説をおこなう。復習として、歴史を、いかに構想すべきかを再検討する。
第 7 回	授業の計画・内容	基本文献の講読及び解説⑤	
	準備学習 (予習・復習等)	指定した文献を読み込んで、評価点と課題点を明示できるようにしておく。	
第 8 回	授業の計画・内容	フィールド調査及び解説②	
	準備学習 (予習・復習等)	指定した寺社について調べ、基本的な歴史を調べておく。復習として、江戸時代の寺社をみる新視角をえられるようにする。	
第 9 回	授業の計画・内容	基本文献の講読及び解説⑥	
	準備学習 (予習・復習等)	指定した文献を読み込んで、評価点と課題点を明示できるようにしておく。	
第 10 回	授業の計画・内容	基本文献の講読及び解説⑦	
	準備学習 (予習・復習等)	指定した文献を読み込んで、評価点と課題点を明示できるようにしておく。	
第 11 回	授業の計画・内容	基本文献の講読と解説⑧	
	準備学習 (予習・復習等)	指定した文献を読み込んで、評価点と課題点を明示できるようにしておく。	
第 12 回	授業の計画・内容	基本文献の講読と解説⑨	



	第 29 回	授業の計画・内容	基本文献の講読と解説⑤	
		準備学習 (予習・復習等)	指定した文献を読み込んで、評価点と課題点を明示できるようにしておく。	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	まとめ	
		準備学習 (予習・復習等)	一年間の講義内容を整理する。復習として、自らの研究と講義内容を関連づけつつ、研究状況を示せるようにする。	60分
履修上の留意点等	文献の解説をおこなうため、各自、文献（コピー可）をそろえていただきます（初回の講義で指示する）。			
成績評価の方法		試験		
		レポート		
		小テスト		
	100 %	平常点		
教科書/テキスト	特に指定はない。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	渡辺尚志編『東北の村の近世』（東京堂出版、2011年）、『神道体系 神社編二八 出羽国』（臨川書店、1990年）、『近世近代移行期の歴史意識・思想・由緒』（岩田書院、2017年）、『茨城の歴史的環境と地域形成』（雄山閣、2009年）。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	本年初めての講義となる。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目	随時、発表形式の授業スタイルをとり、質疑応答を通じて内容理解を深めたい。			

履修コード/科目名称	823301 / 日本史学特講Ⅶ【講義】	
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限
単位数	4	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	小泉 雅弘 (コイズミ マサヒロ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	<p>嘉永6年(1853)のペリー来航以降、日本は未曾有の変革期に突入し、政治的変動をとめないながら社会の質的転換を遂げることになった。その結果、大政奉還、王政復古へと進展し、戊辰戦争に至ることになる。</p> <p>本講義では、三井文庫所蔵の諸史料をテキストとして使用し、史料(くずし字)を読み解きながら、戊辰内乱期の実態や諸問題について検討する。さらに、戊辰戦争による日本社会の変容のようすを明らかにしたい。</p>	
到達目標(ねらい)	<p>三井文庫所蔵の諸史料を素材として、戊辰戦争の実像と特質を究明する。あわせて、史料解釈・史料批判を踏まえながら、歴史学専攻修士課程の学位授与の方針に示した「歴史学専攻の伝統的実証史学である史資料に依拠した専門的な研究能力を身につける」ことを目標とする。</p>	
授業スケジュール	<p>第1回 ガイダンス 第2回以降 本年度は、慶応4年(明治元年)の各種「示合書」「別示合書」(三井文庫所蔵)の他に、同年の書簡類(同所蔵)などを解読し、戊辰内乱期の実態や諸問題を講義する。ただし、受講者によって研究テーマが異なるので、受講者の要望を勘案しながら解読する史料(テキスト)を考慮したい。受講にあたっては、必ず予習すること。</p> <p>上記の他に、課題授業として、静岡県下田市の玉泉寺(旧アメリカ領事館)において古文書調査(3泊4日程度)を実施する。</p>	
履修上の留意点等	<p>戊辰戦争に関する理解を深めておくこと。史料中の人名・地名を調べて授業にのぞむこと。熱意を持って授業にのぞむこと。</p>	
成績評価の方法	試験	
	レポート	
	小テスト	
	平常点	
	100 % 総合的評価	
		学習態度、読解力、討論の内容などを総合的に加味して評価する。
教科書/テキスト	史料をコピーして配布する。	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	<p>賀川隆行『近世三井経営史の研究』(吉川弘文館、1985年) 三井文庫編『史料が語る 三井の歩み』(吉川弘文館、2015年)</p>	
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため対象外。	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		
アクティブラーニング型の授業科目	本科目では、ディスカッションと古文書の調査実習を実施する。	

履修コード/科目名称	823321 / 日本史学演習Ⅶ【演習】	
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限
単位数	4	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	小泉 雅弘 (コイズミ マサヒロ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	時代は幕末から明治期を対象とし、受講者が自らの研究テーマによる発表を行い、近代国家形成過程についての理解を深める。	
到達目標(ねらい)	研究発表を通じて、史料批判・史料解釈・史料操作などの基本的な歴史研究の方法論を身につけ、論理的な思考力を養成することを目的とする。あわせて、歴史学専攻修士課程の学位授与の方針である「専門的な研究能力を身につけることによって、歴史学の成果を社会に還元できる」能力の修得を目標とする。 また、古文書調査の実施によって、専門職として十分に活躍できるだけの能力の修養を目指す。	
授業スケジュール	具体的な内容は、受講者の研究テーマにあわせて決定する。 第1回 ガイダンス 第2～10回 論文講読発表 第11～17回 研究史の整理 第18～23回 史料紹介（解釈と研究史における位置づけ） 第24～30回 個人研究発表 上記の他に、課題授業として、静岡県下田市の玉泉寺（旧アメリカ領事館）において古文書調査（3泊4日程度）を実施する。	
履修上の留意点等	多くの論文・研究書・史料を精読すること。熱意を持って授業にのぞむこと。自分の研究テーマに関連する学会やシンポジウム、古文書調査などには積極的に参加すること。	
成績評価の方法		試験
		レポート
		小テスト
		平常点
	100 %	総合的評価
		授業における発表や討論の内容などのよって総合的に評価する。
教科書/テキスト	適宜紹介する。	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	適宜紹介する。	
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため対象外。	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		
アクティブラーニング型の授業科目	本科目では、ディスカッションと古文書の調査実習を実施する。	

履修コード/科目名称	823351 / 日本史学特講Ⅷ【講義】	
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限
単位数	4	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	熊本 史雄 (クマモト フミオ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	本講義では、近現代日本の政治と外交に関する考察を深めるとともに、修士論文執筆を視野に収めて、当該分野に対する歴史像の構築を図るよう各自が努めることとする。	
到達目標(ねらい)	具体的には、受講生が自らの問題関心に沿ってテーマを選び報告する、という形式で進めていく。現時点では、『日本の外交』（全5巻、岩波書店、2013年）を予定しているが、最終的には、受講生と相談しながら講読対象となる論集や史料集を選定する。	
授業スケジュール	第1回 オリエンテーション（授業の進め方、講読文献・史料等の決定、前期の報告順序の決定） 第2回 近代日本の政治史・外交史などに関する研究動向の整理 第3～15回 文献・史料の講読と解説、討論 第16回 オリエンテーション（後期の報告順序の決定） 第17～30回 文献・史料の講読と解説、討論	
履修上の留意点等		
成績評価の方法		試験
		レポート
		小テスト
	100 %	平常点
教科書/テキスト	第1回目の授業時において決定する。	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	適宜紹介する。	
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため対象外。	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		
アクティブラーニング型の授業科目		

履修コード/科目名称	823361 / 日本史学演習Ⅷ【演習】	
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限
単位数	4	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	熊本 史雄 (クマモト フミオ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	本講では、修士論文を執筆するための力を養成することを目標とする。すなわち、史料の収集と調査方法、史料の解読力・分析力を身につけるとともに、それらを基に各自がテーマに沿った歴史像を構築し、実証的に論述する力を身につけることを目標とする。	
到達目標(ねらい)	具体的には、受講生の問題関心に沿ったテーマを設け、受講生の報告を中心に授業を進める。受講生は、報告対象となる分野の先行研究を整理・評価した上で、自らの問題関心を深めることに努める。さらに、報告者のプレゼンテーションに基づいて全体で考察・討議する。	
授業スケジュール	第1回 オリエンテーション (授業の進め方、前期の報告順序の決定) 第2～15回 研究報告と討議 第16回 オリエンテーション (後期の報告順序の決定) 第17～30回 研究報告と討議	
履修上の留意点等		
成績評価の方法		試験
		レポート
		小テスト
	100 %	平常点
		平常点 (報告内容、討議への貢献・参加状況、課題への取り組み姿勢など) を総合的に判断して評価する。
教科書/テキスト	使用しない。	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	適宜紹介する。	
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため対象外。	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		
アクティブラーニング型の授業科目		

履修コード/科目名称	823371 / 日本史学特講IX【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	三舟 隆之 (ミフネ タカユキ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	<p>古代寺院の成立と展開を、古代王権の仏教受容と関連させて講述する。古代王権における仏教の受容が、やがてどのように在地社会に定着していくか、中央の寺院だけでなく地方寺院にも視点を置く。さらに仏教の受容から寺院造営の始まりと展開について、考古学的な遺物である瓦の文様や製作技法にも留意する。また寺院が古代社会の中でどのような機能を果たしていたかを、寺院縁起や古代の仏教説話集である『日本霊異記』を取り上げてみていきたい。</p>		
到達目標(ねらい)	<p>授業の内容に関係する方法論としては、文献史学だけでなく、考古学や文学などにも関連する学際的な方法で進めていきたい。そのため、関係する考古資料や文献史料はプリントを配布する。また必要に応じてはパワーポイントを用いて解説を行う。この講義では、従来学習してきた日本史学とは異なり、多様な歴史学的方法論を身につけることを到達目標とする。</p>		
授業スケジュール	第1回	<p>授業の計画・内容 1, 古代王権による仏教受容 日本古代において、仏教の受容がどのように行われたかを、朝鮮諸国と比較しながら解説する。</p> <p>準備学習 (予習・復習等) 『日本書紀』と『元興寺縁起』の仏教伝来記事を読んでおくこと。</p>	60分
	第2回	<p>授業の計画・内容 2, 百済と新羅の寺院 百済と新羅の寺院について、最近の発掘調査成果からその特徴を理解し、日本との相違点を考える。益山弥勒寺などの寺院縁起についても解説を行う。</p> <p>準備学習 (予習・復習等) 百済と新羅の古代寺院の位置の確認と、『三国遺事』に目を通しておくこと。</p>	60分
	第3回	<p>授業の計画・内容 3, 飛鳥寺の造営 日本最初の寺院である飛鳥寺がどのように造営されたか、造営氏族の蘇我氏の性質と共に理解し、飛鳥寺の瓦工人の特質を解説する。さらに『元興寺縁起』から飛鳥寺の造営を考える。</p> <p>準備学習 (予習・復習等) 『元興寺縁起』に関する近年の史料批判(吉田説)を読んでおくこと。</p>	60分
	第4回	<p>授業の計画・内容 4, 聖徳太子の寺院 若草伽藍・四天王寺などの聖徳太子関係寺院と法隆寺の諸問題を理解する。飛鳥寺の素弁軒丸瓦の同範関係から、飛鳥寺と聖徳太子関係寺院の問題を解説する。『法隆寺伽藍縁起』から法隆寺の造営過程を考える。</p> <p>準備学習 (予習・復習等) 法隆寺再建非再建論争を理解しておくこと。</p>	60分
	第5回	<p>授業の計画・内容 5, 百済大寺の造営 日本最初の天皇家による寺院造営となった百済大寺の問題と、比定される吉備池廃寺の諸問題を考察する。吉備池廃寺の軒丸瓦の成立・伽藍配置など、今後の寺院史研究の課題について概説する。</p> <p>準備学習 (予習・復習等) 吉備池廃寺の発掘調査報告書を目を通しておくこと。</p>	60分
	第6回	<p>授業の計画・内容 6, 大化改新と仏教 大化改新の諸問題と孝徳朝における仏教政策を理解し、大化の造寺奨励策を考える。</p> <p>準備学習 (予習・復習等) 大化の造寺奨励策について、『日本書紀』を読んでおくこと。</p>	60分
	第7回	<p>授業の計画・内容 7, 古代寺院の成立—山田寺と川原寺 7世紀代の代表的な寺院である山田寺と川原寺の諸問題について理解すると共に、全国各地に山田寺式・川原寺式軒瓦が分布した理由を考える。</p>	

	準備学習 (予習・復習等)	山田寺の建立者である蘇我倉山田石川麻呂について調べておくこと。	60分
第 8 回	授業の計画・内容	8, 大寺制の再検討 従来国家仏教の象徴である「大寺制について、「大寺」の本来の意味とその諸問題を考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	「大寺制」の研究史を調べておくこと。	60分
第 9 回	授業の計画・内容	9, 国家仏教の成立 天武朝における国家仏教政策について、天武十四年三月壬申詔を中心にその意味を理解する。	
	準備学習 (予習・復習等)	「国家仏教」とは何か、理解しておくこと。	60分
第 10 回	授業の計画・内容	10, 郡衙と寺院 地方豪族である郡司の拠点である郡衙と寺院の関係を理解する。近年提唱されている「郡衙周辺寺院」・「郡寺」の問題を考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	郡衙遺跡と寺院跡で位置的に関係すると思われる例（岐阜県弥勒寺官衙遺跡群など）を調べておくこと。	60分
第 11 回	授業の計画・内容	11, 評制の成立と寺院－那須国造碑と寺院 大化改新以後の評制の施行と寺院の造営の意義について考察する。	
	準備学習 (予習・復習等)	「那須国造碑」の碑文と下侍塚古墳を発掘した学史について調べておくこと。	60分
第 12 回	授業の計画・内容	12, 山ノ上碑文と金井沢碑文 群馬県山ノ上碑と金井沢碑文から、古代地方豪族の仏教受容を考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	山ノ上碑文と金井沢碑文について、碑文を予習しておくこと。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	13, 寺院と知識① 西琳寺縁起と氏寺 近年の知識寺院説を批判して、「西琳寺縁起」から「氏寺」とは何かを理解する。	
	準備学習 (予習・復習等)	「西琳寺縁起」について調べておくこと。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	14, 寺院と知識② 「既多寺知識経」と氏寺 「既多寺知識経」の「知識」から、氏寺の構造を考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	「既多寺知識経」について調べておくこと。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	15, 古代の寺院についてのまとめ	
	準備学習 (予習・復習等)	春学期で学習した寺院史について、整理しておくこと。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	16, 寺院縁起－『日本霊異記』の寺院縁起① 『日本霊異記』を中心に、寺院縁起を考える。上巻第七縁の三谷寺、上巻代十七縁の越智寺の縁起について考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	『日本霊異記』上7と上17の説話を読んでおくこと。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	17, 寺院縁起－『日本霊異記』の寺院縁起② 『日本霊異記』中巻第三十一縁と三十九縁の磐田寺・鶴田堂の縁起を理解する。	
	準備学習 (予習・復習等)	『日本霊異記』中31と39の説話を読んでおくこと	60分
第 18 回	授業の計画・内容	18, 地方寺院の実態－『出雲国風土記』の新造院－ 『出雲国風土記』に見える「新造院」の実態を寺院縁起として理解する。	
	準備学習 (予習・復習等)	『出雲国風土記』の新造院条を調べておくこと。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	19, 「大安寺伽藍縁起并流記資財帳」を読む 「大安寺伽藍縁起并資財帳」を史料として読み、発願から造営過程、寺物まで理解する。	
	準備学習	「大安寺伽藍縁起并流記資財帳」を調べて読み、発表	

	(予習・復習等)	する。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	20、「法隆寺伽藍縁起并流記資財帳」を読む。 「法隆寺伽藍縁起并資財帳」を史料として読み、発願から造営過程、寺物まで理解する。	
	準備学習 (予習・復習等)	「法隆寺伽藍縁起并流記資財帳」を調べて読み、発表する。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	21、「多度神宮寺伽藍縁起并資財帳」を読む 「多度神宮寺伽藍縁起并資財帳」を史料として読み、発願から造営過程、寺物まで理解する。	
	準備学習 (予習・復習等)	「多度神宮寺伽藍縁起并資財帳」の史料性について、調べておくこと。発表の準備を行うこと。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	22、『類聚三代格』定額寺事① 霊龜二年五月一七日官符（いわゆる寺院併合令）を読んで、寺院併合令についてその効力を学ぶ。	
	準備学習 (予習・復習等)	定額寺とは何か、学説史を調べておくこと。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	23、『類聚三代格』定額寺事② 天平宝字三年六月二二日官符・延暦十五年三月二五日官符などを読み、定額寺の資財について考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	寺の資財と寺物盗用の説話についても調べておくこと。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	24、『延喜式』における定額寺 『延喜式』に見える定額寺条から、定額寺の機能を考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	『延喜式』の定額寺条を読んでおくこと。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	25, 『類聚三代格』国分寺事① 天平十三年二月一四日官符の国分寺造営の詔を読む。	
	準備学習 (予習・復習等)	国分寺建立の詔に関する学説史を読んでおくこと。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	26, 。, 『類聚三代格』国分寺事② 国分寺の機能／法会を読む。在地における国分寺の機能を考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	『類聚三代格』だけでなく、『延喜式』も目を通しておくこと。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	27, 地方寺院の法会 『日本靈異記』に見える懺悔悔過と父母供養の説話を集約し、古代の地方寺院ではどのような法会が行われていたか検証する。	
	準備学習 (予習・復習等)	『日本靈異記』に見える説話の中から、地方寺院の法会の実態を探ること。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	28, 『東大寺諷誦文稿』と『日本感靈録』 『東大寺諷誦文稿』と『日本感靈録』という仏教説話から、古代の仏教の特質と地方仏教を考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	『東大寺諷誦文稿』と『日本感靈録』を調べておくこと。	60分
第 29 回	授業の計画・内容	29, 定額寺と地方寺院の変質 定額寺制の成立と平安時代における地方仏教の変質を考える。 「上野国交替実録帳」に見える「放光寺」などの定額寺の実態について調べる。	
	準備学習 (予習・復習等)	「上野国交替実録帳」に見える「放光寺」などの定額寺の実態について調べる。	60分
第 30 回	授業の計画・内容	30, まとめ 地方仏教の様相から、古代の仏教について考える。	
	準備学習 (予習・復習等)	30回の授業の内容を整理しておくこと。	60分
履修上の留意点等	3分の2以上の出席がなければ、成績評価を行わない。		
成績評価の方法	試験		

	70 %	レポート
		小テスト
	30 %	平常点
教科書/テキスト	授業では毎回プリントを配布し、教材とする。	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	三舟隆之『『日本霊異記』説話の地域史的研究』法藏館 2016年、三舟隆之『日本古代地方寺院の成立』吉川弘文館 2003年、『日本古代の王権と寺院』名著刊行会 2013年、岡本東三『古代寺院の成立と展開』山川出版社 日本史リブレット17 2002年などその他、必要に応じて授業で指示する。	
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	参考文献の紹介を多くする。	
関連リンク	とくになし	
実務経験がある教員による授業科目		
アクティブラーニング型の授業科目		

履修コード/科目名称	823391 / 日本史学特講Ⅹ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	大久保 俊昭 (オオクボ トシアキ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	本講座は中世史、特に東国戦国史の最新の研究をもとに受講大学院生の興味・関心に引き付けて講義するのみならず、史料解釈や論文講読を通じて受講生の研究に新たな方向性が模索できるような内容としたい。		
到達目標(ねらい)	修士論文や各人の論文作成に資することができるような問題関心や分析方法などを習得することを目標とする。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	ガイダンス① 受講生の興味・関心の所在を確認し、年間の講義計画の概要について説明する
		準備学習 (予習・復習等)	特になし 90分
	第 2 回	授業の計画・内容	中世社会の概説と問題点の整理① 鎌倉期
		準備学習 (予習・復習等)	特になし 90分
	第 3 回	授業の計画・内容	中世社会の概説と問題点の整理② 南北朝期
		準備学習 (予習・復習等)	特になし 90分
	第 4 回	授業の計画・内容	中世社会の概説と問題点の整理③ 室町期
		準備学習 (予習・復習等)	特になし 90分
	第 5 回	授業の計画・内容	中世社会の概説と問題点の整理④ 戦国期
		準備学習 (予習・復習等)	特になし 90分
	第 6 回	授業の計画・内容	中世社会の概説と問題点の整理⑤ 織豊期
		準備学習 (予習・復習等)	特になし 90分
	第 7 回	授業の計画・内容	東国戦国史の現状と課題 今川氏を中心に①
		準備学習 (予習・復習等)	特になし 90分
	第 8 回	授業の計画・内容	東国戦国史の現状と課題 今川氏を中心に②
		準備学習 (予習・復習等)	東国戦国史の現状と課題 小田原北条氏を中心に① 90分
	第 9 回	授業の計画・内容	東国戦国史の現状と課題 小田原北条氏を中心に②
		準備学習 (予習・復習等)	特になし 90分
	第 10 回	授業の計画・内容	東国戦国史の現状と課題 武田氏を中心に①
		準備学習 (予習・復習等)	特になし 90分
		東国戦国史の現状と課題	

第 11 回	授業の計画・内容	武田氏を中心に②	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 12 回	授業の計画・内容	東国戦国史の現状と課題 上杉氏を中心に	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 13 回	授業の計画・内容	東国戦国史の現状と課題 東北地方の領主達	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 14 回	授業の計画・内容	戦国時代と宗教 神社との関り①	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 15 回	授業の計画・内容	戦国時代と宗教 神社との関り②	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 16 回	授業の計画・内容	戦国時代と宗教 寺院との関り①	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 17 回	授業の計画・内容	戦国時代と宗教 寺院との関り②	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 18 回	授業の計画・内容	中世文書論①	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 19 回	授業の計画・内容	中世文書論②	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 20 回	授業の計画・内容	中世文書論③	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 21 回	授業の計画・内容	織田信長政権論①	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 22 回	授業の計画・内容	織田信長政権論②	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 23 回	授業の計画・内容	織田信長政権論③	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 24 回	授業の計画・内容	三河時代の松平氏	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 25 回	授業の計画・内容	徳川政権論①	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 26 回	授業の計画・内容	徳川政権論②	
	準備学習		

	(予習・復習等)	特になし	90分
第 27 回	授業の計画・内容	徳川政権論③	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 28 回	授業の計画・内容	近世社会への展望①	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 29 回	授業の計画・内容	近世社会への展望②	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
第 30 回	授業の計画・内容	1年間の総括	
	準備学習 (予習・復習等)	特になし	90分
履修上の留意点等	講義を一方的に受講するだけではなく、受講生も積極的に参加・発言できるような香華形式を検討したい。そして討論等を通じてそれぞれの問題関心を進化させることができるようにさせたい。		
成績評価の方法	試験		
	レポート		
	小テスト		
	30 % 平常点		
	70 % 講義への出席状況・課題レポートなど		
教科書/テキスト	現段階では特に指定しない。講義内容に沿って随時配布・又紹介する。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	教科書・テキストと同様である。		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	受講生の希望や指摘を受け止め、常に講義内容・形式の改善に努めたい。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			
アクティブラーニング型の授業科目			

履修コード/科目名称	823411 / 日本史学特講ⅩⅠ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	太田 尚宏 (オオタ ナオヒロ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	江戸幕府の政治のあり方と民間社会との関係を軸として、近世国家の成熟過程について解説する。また、都市江戸を事例とした社会史・文化史の様相についても、適宜言及していく予定である。		
到達目標(ねらい)	江戸時代の歴史事象について正確に理解し、分析に必要な知識・能力を身につけるとともに、歴史における事実関係を解明するのに不可欠な文献史料(古文書・活字史料)の読解能力を培うことを目標とする。		
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	徳川の「平和」 ―江戸時代とはどういう時代か―
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。 60分
	第2回	授業の計画・内容	石高制の社会(その1)
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。 60分
	第3回	授業の計画・内容	石高制の社会(その2)
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。 60分
	第4回	授業の計画・内容	近世的村落の形成 ―「自力」から「行政」へ―
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。 60分
	第5回	授業の計画・内容	「百姓株」と「証文」 ―生産力の向上と文字文化の浸透―
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。 60分
	第6回	授業の計画・内容	参勤交代の社会史的意義
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。 60分
	第7回	授業の計画・内容	江戸の捨子・迷子と生類憐み政策
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。 60分
	第8回	授業の計画・内容	元禄時代の武士たち
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。 60分
	第9回	授業の計画・内容	吉宗政権の誕生 ―近世国家の質的転換―(その1)
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。 60分
	第10回	授業の計画・内容	吉宗政権の誕生 ―近世国家の質的転換―(その2)
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。 60分
	第11回	授業の計画・内容	江戸周辺地域の植樹政策(その1)
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。 60分
	第12回	授業の計画・内容	江戸周辺地域の植樹政策(その2)
		準備学習	

	(予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	森林から見た享保改革 (その 1)	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	森林から見た享保改革 (その 2)	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	吉宗政権の危機管理政策 — 飢饉・洪水・流行病 —	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	田沼政権と民間経済 — 消費文化の基底 — (その 1)	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	田沼政権と民間経済 — 消費文化の基底 — (その 2)	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	江戸の町と町政 — 「九尺二間」の暮らし —	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	江戸の「食」文化 — 酒食の大衆化と「おごり」の感覚 —	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	川柳と噺本 — 「うがち」観の発達 —	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	三馬と京伝 — 戯作文学と商品広告 —	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	庶民の反乱と政権交代 — 天明の江戸打ちこわしと黄表紙 — (その 1)	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	庶民の反乱と政権交代 — 天明の江戸打ちこわしと黄表紙 — (その 2)	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	民間依存の改革政治 — 寛政期の都市政策 —	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	江戸へ向かう農民たち — 都市江戸の人口問題 —	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	江戸の「悪所」と風俗 — 芝居町と吉原 —	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	「出府日記」の世界 — 江戸滞在者の消費行動 —	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	墓標なき墓地の光景 — 江戸の葬送事情 —	
	準備学習		

	(予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 29 回	授業の計画・内容	幕末江戸の「戦時体制」 ―英国軍艦の渡来と「あわて絵」―	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わる文献・史料を探して読んでおく。	60分
第 30 回	授業の計画・内容	まとめ	
	準備学習 (予習・復習等)	今までの授業全体の概要を整理しておく。	60分
履修上の留意点等			
成績評価の方法		試験	
	50 %	レポート	
		小テスト	
	50 %	平常点	
教科書/テキスト	特に指定せず、適宜、資料プリントを配布する予定。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため、授業アンケート未実施（授業アンケート対象外科目）		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			
アクティブラーニング型の授業科目			

履修コード/科目名称	823431 / 日本史学特講Ⅱ【講義】	
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限
単位数	4	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	小林 和幸 (コバヤシ カズユキ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	近代日本史に関わる様々な一次史料（政治家の日記、書翰、公文書など）を読解すると共にその史料を詳細に検討する。また参加者各自の研究報告を行い、参加者による質問ならびに討議を行う。	
到達目標(ねらい)	近代日本史研究の方法を学び、近代日本史に関する理解を深め、各自の研究の進展をはかる。また、近代日本史料（特に「くずし字」）を読みこなし、そうした史料を活用して、論理的に日本近代史を叙述し得る力をつけることを目標とする。	
授業スケジュール	<p>参加者各自の問題関心に考慮して、国立国会図書館憲政資料室、独立行政法人国立公文書館、宮内庁書陵部などの史料を、講読史料として取り上げ、参加者による精読、報告、討議をおこなう。また、随時、参加者の各自の問題意識にそった研究報告や書評を行ってもらい、全員で討議し、各自の研究の進展を図る。</p> <p>「授業計画」</p> <p>オリエンテーション</p> <p>2 近代政治家の史料について</p> <p>3 近代政治家の史料を読む(憲政資料室所蔵史料1)</p> <p>4 近代政治家の史料を読む(憲政資料室所蔵史料2)</p> <p>5 近代政治家の史料を読む(憲政資料室所蔵史料3)</p> <p>6 近代政治家の史料を読む(憲政資料室所蔵史料4)</p> <p>7 近代政治家の史料を読む(憲政資料室所蔵史料5)</p> <p>8 近代政治家の史料を読む(憲政資料室所蔵史料6)</p> <p>9 近代政治家の史料を読む(憲政資料室所蔵史料7)</p> <p>10 近代政治家の史料を読む(憲政資料室所蔵史料8)</p> <p>11 前期：受講生の研究報告1</p> <p>12 前期：受講生の研究報告2</p> <p>13 前期：受講生の研究報告3</p> <p>14 前期：受講生の研究報告4</p> <p>15 前期：受講生の研究報告5</p> <p>16 近代政治家の史料を読む(国立公文書館ほか所蔵史料1)</p> <p>17 近代政治家の史料を読む(国立公文書館ほか所蔵史料2)</p> <p>18 近代政治家の史料を読む(国立公文書館ほか所蔵史料3)</p> <p>19 近代政治家の史料を読む(国立公文書館ほか所蔵史料4)</p> <p>20 近代政治家の史料を読む(国立公文書館ほか所蔵史料5)</p> <p>21 近代政治家の史料を読む(国立公文書館ほか所蔵史料6)</p> <p>22 近代政治家の史料を読む(国立公文書館ほか所蔵史料7)</p> <p>23 近代政治家の史料を読む(国立公文書館ほか所蔵史料8)</p> <p>24 近代政治家の史料を読む(国立公文書館ほか所蔵史料9)</p> <p>25 後期：受講生の研究報告1</p> <p>26 後期：受講生の研究報告2</p> <p>27 後期：受講生の研究報告3</p> <p>28 後期：受講生の研究報告4</p> <p>29 後期：受講生の研究報告5</p> <p>30 まとめ</p>	
履修上の留意点等	授業では、積極的に発言し、各自の研究能力の向上に努めて欲しい。	
成績評価の方法		試験
	20 %	レポート
		小テスト
	80 %	平常点

教科書/テキスト	適宜配布する。
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業の中で指示する。
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	昨年度同様、個別の研究課題に留意して授業を進めていく。
関連リンク	
実務経験がある教員による授業科目	
アクティブラーニング型の授業科目	

履修コード/科目名称	823511 / アーカイブズ概論【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	太田 尚宏 (オオタ ナオヒロ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	本講義では、アーカイブズ学の基本的事項に関して理解するとともに、特に家文書・個人文書などの民間アーカイブズの作成・授受・管理・伝来・保存・活用について、その調査と研究の方法を学ぶ。前期は、アーカイブズ学全般に関する概説を中心とし、後期は、民間アーカイブズに関する文献講読と調査・研究に関わる実践事例の紹介を通じて、理解の深化を図る。		
到達目標(ねらい)	アーカイブズ学に関する基礎的理論を学び、アーカイブズを取り扱うために必要な知識と技能を修得することを目標とする。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	オリエンテーション
		準備学習 (予習・復習等)	シラバスを読み、授業全体の内容を把握しておく。 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	日本における歴史資料保存利用運動とアーカイブズ学
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	アーカイブズ学に関する基礎的用語と文書のライフサイクル
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	組織体—記録の作成・管理母体—
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	組織アーカイブズと民間(収集)アーカイブズ
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	アーカイブズの階層構造
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	アーカイブズ法制
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	レコーズからアーカイブズへ(評価・選別)
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	アーカイブズ目録の編成記述
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	アーカイブズの物理的保存と災害対応
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	アーカイブズの公開活動(閲覧・講座・展示)
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	社会変容と民間アーカイブズ① —地域の変化・行政改革—

	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	社会変容と民間アーカイブズ② 一大規模災害とアーカイブズの再認識ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	社会変容と民間アーカイブズ③ ーアーカイブズ界の動向ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	前期のまとめと討論	
	準備学習 (予習・復習等)	前期の授業内容を振り返って整理しておく。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	民間アーカイブズ調査論① ー所在情報の確認ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	民間アーカイブズ調査論② ー調査計画の立案と段階的調査ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	民間アーカイブズ調査論③ ー現状記録の有効性ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	民間アーカイブズ調査論④ ー資料目録の記述ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	民間アーカイブズ調査論⑤ ー調査成果の公開・活用ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	歴史アーカイブズ資源の研究① ー組織体の機能と収受・作成文書①ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	歴史アーカイブズ資源の研究② ー組織体の機能と収受・作成文書②ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	歴史アーカイブズ資源の研究③ ー組織体の機能と収受・作成文書③ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	歴史アーカイブズ資源の研究④ ー記録の管理と伝来①ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	歴史アーカイブズ資源の研究⑤ ー記録の管理と伝来②ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	歴史アーカイブズ資源の研究⑥ ー多層的整理歴への着目ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	歴史アーカイブズ資源の研究⑦ ー文書群の階層構造分析①ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	歴史アーカイブズ資源の研究⑧ ー文書群の階層構造分析②ー	

	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 29 回	授業の計画・内容	歴史アーカイブズ資源の研究⑨ーアーカイブズ学的分析手法と歴史研究への応用ー	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容に関わるアーカイブズ学の文献を探して読んでおく。	60分
第 30 回	授業の計画・内容	後期のまとめと討論	
	準備学習 (予習・復習等)	後期の講義内容を振り返って整理しておく。	60分
履修上の留意点等	特になし		
成績評価の方法		試験	
	50 %	レポート	
		小テスト	
	50 %	平常点	
教科書/テキスト	必要に応じて、プリントなどを配布する		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	国文学研究資料館編『幕藩政アーカイブズの総合的研究』 思文閣出版 税別8500円 978-4-7842-1798-4 国文学研究資料館編『社会変容と民間アーカイブズー地域の持続へ向けてー』 勉誠出版 税別8000円 978-4-585-20054-3		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため、授業アンケートは実施していない		
関連リンク	国文学研究資料館アーカイブズ学文献データベース <a href="http://basel.nijl.ac.jp/~archiadodb/">http://basel.nijl.ac.jp/~archiadodb/</a>		
実務経験がある教員による授業科目			
アクティブラーニング型の授業科目			

履修コード/科目名称	823521 / アーカイブズ管理論【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	中野目 徹 (ナカノメ トオル)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	<p>本講では、主として近代日本の歴史公文書等を対象に、それらがどのように発生し、保存され、利用に供されるかという、記録史料の管理 (archival administration) の問題を取り上げる。その際に、古文書学や記録史料学 (文書館学、アーカイブズの科学) の方法に学びつつ、歴史学の補助分野であるとともに、独自の研究領域を有する史料学の構築を意識しながら進めたい。</p> <p>今年度は、公文書管理法の施行状況を批判的に検討しつつ、『アーカイブズ学研究』『記録と史料』『アーカイブズ』及び地方自治体公文書館紀要、大学文書館紀要などのなかから近代日本の歴史公文書等に関する論考を取り上げて検討を加えていくほか、記録史料の管理をめぐる最新の問題を適宜紹介し、議論を重ねていきたい。これらを通して、史料に関する認識を深めてもらうことが、本講のねらいである。</p>		
到達目標(ねらい)	今日における記録史料管理の現状と問題点を的確に理解するとともに、有効な批判を加えられる各自なりの視点を獲得すること。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	導入ー本講の課題と方法ー
		準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	記録史料をめぐる最近の動向
		準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	公文書管理法の逐条解釈
		準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	公文書管理法の問題点
		準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	公文書管理法改正の方向性
		準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	公文書館法と国立公文書館法
		準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	行政機関情報公開法その他関連法令
		準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	国の機関における公文書管理
		準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	国立公文書館における公文書管理
		準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	国立公文書館等における公文書管理
		準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	国立大学法人の公文書管理

	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 12 回	授業の計画・内容	筑波大学の事例	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 13 回	授業の計画・内容	その他の国立大学法人の事例	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 14 回	授業の計画・内容	私立大学の場合	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 15 回	授業の計画・内容	前期の総括	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 16 回	授業の計画・内容	後期の導入	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 17 回	授業の計画・内容	地方自治体における記録史料をめぐる諸問題	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 18 回	授業の計画・内容	地方自治体における公文書管理	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 19 回	授業の計画・内容	公文書管理条例の制定事例（都道府県の場合）	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 20 回	授業の計画・内容	公文書管理条例の制定事例（市町村の場合）	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 21 回	授業の計画・内容	地方公文書館における公文書管理（都道府県の場合）	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 22 回	授業の計画・内容	地方公文書館における公文書管理（市町村の場合）	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 23 回	授業の計画・内容	土地改良区の文書管理	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 24 回	授業の計画・内容	自治体史編纂事業から公文書館へ（都道府県の場合）	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 25 回	授業の計画・内容	自治体史編纂事業から公文書館へ（市町村の場合）	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 26 回	授業の計画・内容	情報公開（個人情報保護）と記録史料の管理（国の場合）	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 27 回	授業の計画・内容	情報公開（個人情報保護）と記録史料の管理（地方自治体の場合）	
	準備学習		

	(予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 28 回	授業の計画・内容	地方自治体における公文書管理の方向性	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 29 回	授業の計画・内容	後期の総括	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
第 30 回	授業の計画・内容	全体の総括	
	準備学習 (予習・復習等)	講義で配付するプリントを参照しておくこと	60分
履修上の留意点等	毎回出席し、積極的に議論に加わってほしい。		
成績評価の方法	試験		
	レポート		
	小テスト		
	80 % 平常点		
	20 % 口述試験		
	平常点を基本にして、適宜口述試験を行なって評価する。		
教科書/テキスト	中野目徹『近代史科学の射程』（弘文堂オンデマンド版）¥6500 中野目徹『公文書管理法とアーカイブズ』（岩田書院）¥1600		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	中野目徹・熊本史雄編『近代日本公文書管理制度史料集』（岩田書院）¥24000 その他については、講義のなかで適宜指示する。		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため該当せず。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目	授業担当者は、かつて総理府（現内閣府）事務官、国立公文書館公文書研究職であり、その後も内閣府の審議会委員や国立公文書館の研修会講師を務めた経験がある。		
アクティブラーニング型の授業科目			

履修コード/科目名称	823541 / アーカイブズ資源論【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	小宮 一夫 (コミヤ カズオ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	日本近代史では、「公文書」とともに、個人の手紙や日記などの「私文書」の史料的价值が高い。手紙(書簡)は、電話が普及するまではコミュニケーションの手段として一般的であった。この授業では、神奈川県二宮町にある徳富蘇峰記念館に残されている徳富蘇峰に宛てられた書簡や徳富の意見書などの手稿の読解を通じて、徳富蘇峰のさまざまなネットワークや徳富の思想認識を探る。 また、アーカイブズに対する理解を深めるため、関連する文献の読解を行う。		
到達目標(ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本近代史における私文書の構造と内容を理解する。</li> <li>・徳富蘇峰と関係者のコミュニケーションのあり方を理解する。</li> <li>・くずし字史料の読解方法を習得する。</li> <li>・自分が研究で用いる史料のアーカイブとしての特性を論じられるようにする。</li> </ul>		
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	ガイダンス：授業の進め方について
		準備学習 (予習・復習等)	講義前にシラバスを確認する。 60分
	第2回	授業の計画・内容	徳富蘇峰に関する史料群と研究史について
		準備学習 (予習・復習等)	配付レジュメを復習する。 60分
	第3回	授業の計画・内容	徳富蘇峰宛山川端三書簡の講読
		準備学習 (予習・復習等)	配付史料を筆耕し、語句や人名を調べる。 120分
	第4回	授業の計画・内容	講読した徳富蘇峰宛山川端三書簡の解説と討論
		準備学習 (予習・復習等)	講読した史料を読み返し、史料の内容を理解する。 60分
	第5回	授業の計画・内容	『歴史に向きあう』第1章～2章の読解と討論
		準備学習 (予習・復習等)	予習：『歴史に向きあう』第1章～2章を読み、論点を考える。復習：授業での討論をふりかえる。 120分
	第6回	授業の計画・内容	徳富蘇峰宛長谷場純孝書簡の講読
		準備学習 (予習・復習等)	配付史料を筆耕し、語句や人名を調べる。 120分
	第7回	授業の計画・内容	講読した徳富蘇峰宛長谷場純孝書簡の解説と討論
		準備学習 (予習・復習等)	講読した史料を読み返し、史料の内容を理解する。 60分
	第8回	授業の計画・内容	『歴史に向きあう』第3章の講読と討論
		準備学習 (予習・復習等)	予習：『歴史に向きあう』第3章を読み、論点を考える。復習：授業での討論をふりかえる。 90分
	第9回	授業の計画・内容	徳富蘇峰宛芳沢謙吉書簡の講読
		準備学習 (予習・復習等)	配付史料を筆耕し、語句や人名を調べる。 120分
	第10回	授業の計画・内容	講読した徳富蘇峰宛芳沢謙吉書簡の解説と討論
		準備学習 (予習・復習等)	講読した史料を読み返し、史料の内容を理解する。 60分
	第11回	授業の計画・内容	『歴史に向きあう』第4～5章の講読と討論
		準備学習	予習：『歴史に向きあう』第4～5章を読み、論点を考

	(予習・復習等)	える。 復習：授業での討論をふりかえる。	120分
第 12 回	授業の計画・内容	徳富蘇峰宛正力松太郎書簡の講読	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料を筆耕し、語句や人名を調べる。	120分
第 13 回	授業の計画・内容	講読した正力松太郎書簡の講読と討論	
	準備学習 (予習・復習等)	講読した史料を読み返し、史料の内容を理解する。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	『歴史に向きあう』第6～7章の講読と討論	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：『歴史に向きあう』第6～7章を読み、論点を考える。 復習：授業での討論をふりかえる。	120分
第 15 回	授業の計画・内容	前期の授業のまとめ	
	準備学習 (予習・復習等)	前期の授業のふりかえる。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	『歴史に向きあう』第8章、補章の講読と討論	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：『歴史に向きあう』第8章、補章を読み、論点を考える。 復習：授業での討論をふりかえる。	120分
第 17 回	授業の計画・内容	徳富蘇峰宛高石真五郎書簡の講読	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料を筆耕し、語句や人名を調べる。	120分
第 18 回	授業の計画・内容	講読した徳富蘇峰宛高石真五郎書簡の解説と討論	
	準備学習 (予習・復習等)	講読した史料を読み返し、史料の内容を理解する。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	徳富蘇峰宛高田元三郎書簡の講読	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料を筆耕し、語句や人名を調べる。	120分
第 20 回	授業の計画・内容	講読した徳富蘇峰宛高田元三郎書簡の解説と討論	
	準備学習 (予習・復習等)	講読した史料を読み返し、史料の内容を理解する。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	徳富蘇峰の政治論（手稿）の講読	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料を筆耕し、語句や人名を調べる。	120分
第 22 回	授業の計画・内容	講読した徳富蘇峰の政治論（手稿）の解説と討論	
	準備学習 (予習・復習等)	講読した史料を読み返し、史料の内容を理解する。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	徳富蘇峰の外交論（手稿）の講読	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料を筆耕し、語句や人名を調べる。	120分
第 24 回	授業の計画・内容	講読した徳富蘇峰の外交論（手稿）の解説と討論	
	準備学習 (予習・復習等)	講読した史料を読み返し、史料の内容を理解する。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	徳富蘇峰の皇室論（手稿）の講読	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料を筆耕し、語句や人名を調べる。	120分
第 26 回	授業の計画・内容	講読した徳富蘇峰の皇室論（手稿）の解説と討論	
	準備学習 (予習・復習等)	講読した史料を読み返し、史料の内容を理解する。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	徳富蘇峰の関係史料を用いた報告（その1）	

	準備学習 (予習・復習等)	当日の討論をふりかえる。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	徳富蘇峰の関係史料を用いた報告 (その2)	
	準備学習 (予習・復習等)	当日の討論をふりかえる。	60分
第 29 回	授業の計画・内容	徳富蘇峰の関係史料を用いた報告 (その3)	
	準備学習 (予習・復習等)	当日の討論をふりかえる。	60分
第 30 回	授業の計画・内容	後期の授業のまとめ	
	準備学習 (予習・復習等)	後期の授業をふりかえる。	60分
履修上の留意点等			
成績評価の方法			
	試験		
	レポート		
	小テスト		
100 %	平常点		
平常点 (授業時の報告内容、討論への貢献・参加状況、課題への取り組み姿勢など) を総合的に判断して評価する。			
教科書/テキスト			
	書籍名	『歴史に向きあうー未来につなぐ近現代の歴史』	
	著者名	黒沢文貴	出版年
			2019年
		価格	3,740円
	出版社	東京大学出版会	ISBN
			978-4-13-026350-4
	備考		
徳富蘇峰の手稿や関係者による徳富宛書簡は複写して配布する。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業時に適宜指示する。		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため、アンケート対象外。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			
アクティブラーニング型の授業科目			

履修コード/科目名称	823801 / 東洋史学特講 I 【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	石井 仁 (イシイ ヒトシ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	魏晋南北朝時代の地方行政制度について、都督（ないし都督府）制度を中心に論じる。第一に、後漢末の牧伯制など、都督に先行する諸制度をふまえて、都督制度の確立過程を明らかにする。第二に、都督の幕僚職（府佐）——軍師・軍師祭酒、参軍事などの起源と変遷を追跡しつつ、都督府の成立について探っていく。第三に、都督府の構造とその内部の社会について考察し、都督制度ないし都督府が果たした役割について総括する。		
到達目標(ねらい)	(1) 研究史の整理について理解を深める。 (2) 史料の読解について理解を深める。 (3) 以上のような能力を高め、自らの研究に応用できるようにする。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	総論－六朝都督制度研究の現状と課題①
		準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解 90分
	第 2 回	授業の計画・内容	総論－六朝都督制度研究の現状と課題②
		準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解 90分
	第 3 回	授業の計画・内容	総論－六朝都督制度研究の現状と課題③
		準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解 90分
	第 4 回	授業の計画・内容	総論－六朝都督制度研究の現状と課題④
		準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解 90分
	第 5 回	授業の計画・内容	総論－六朝都督制度研究の現状と課題⑤
		準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解 90分
	第 6 回	授業の計画・内容	各論 I－都督制度の成立①
		準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解 90分
	第 7 回	授業の計画・内容	各論 I－都督制度の成立②
		準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解 90分
	第 8 回	授業の計画・内容	各論 I－都督制度の成立③
		準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解 90分
	第 9 回	授業の計画・内容	各論 I－都督制度の成立④
		準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解 90分
	第 10 回	授業の計画・内容	各論 I－都督制度の成立⑤
		準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解 90分
	第 11 回	授業の計画・内容	各論 II－都督府の形成①
		準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解 90分

第 12 回	授業の計画・内容	各論Ⅱ－都督府の形成②	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 13 回	授業の計画・内容	各論Ⅱ－都督府の形成③	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 14 回	授業の計画・内容	各論Ⅱ－都督府の形成④	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 15 回	授業の計画・内容	各論Ⅱ－都督府の形成⑤	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 16 回	授業の計画・内容	各論Ⅲ－府官の発達①	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 17 回	授業の計画・内容	各論Ⅲ－府官の発達②	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 18 回	授業の計画・内容	各論Ⅲ－府官の発達③	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 19 回	授業の計画・内容	各論Ⅲ－府官の発達④	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 20 回	授業の計画・内容	各論Ⅲ－府官の発達⑤	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 21 回	授業の計画・内容	各論Ⅳ－府望と府中語①	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 22 回	授業の計画・内容	各論Ⅳ－府望と府中語②	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 23 回	授業の計画・内容	各論Ⅳ－府望と府中語③	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 24 回	授業の計画・内容	各論Ⅳ－府望と府中語④	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 25 回	授業の計画・内容	各論Ⅳ－府望と府中語⑤	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 26 回	授業の計画・内容	結論－都督府と六朝貴族制①	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 27 回	授業の計画・内容	結論－都督府と六朝貴族制②	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 28 回	授業の計画・内容	結論－都督府と六朝貴族制③	

	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 29 回	授業の計画・内容	結論—都督府と六朝貴族制④	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
第 30 回	授業の計画・内容	結論—都督府と六朝貴族制⑤	
	準備学習 (予習・復習等)	配付史料の読解、および参考文献の調査・収集ないし読解	90分
履修上の留意点等	魏晉南北朝史、あるいは中国の官僚制度、地方行政制度、軍事制度などに関する基礎知識については、あらかじめ自らの責任で習得しておくこと。		
成績評価の方法		試験	
	50 %	レポート	
		小テスト	
	50 %	平常点	
教科書/テキスト	教科書は指定しない。配布資料に沿って進める。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	宮崎市定『九品官人法の研究』（東洋史研究会、1956年）、嚴耕望『中国地方行政制度史』乙部上冊・下冊「魏晉南北朝地方行政制度」（中央研究院歴史語言研究所專刊45A・B、1963年）、小尾孟夫『六朝都督制研究』（溪水社、2001年）、石井仁「『地方分権化』と都督制」（『三国志研究』第4号、2009年）、同上「参軍事の研究」（『三国志研究』第10号、2015年）など		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	昨年度、アンケートを実施していない。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			
アクティブラーニング型の授業科目			

履修コード/科目名称	823821 / 東洋史学演習 I 【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	石井 仁 (イシイ ヒトシ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	東洋史関係の修士論文の作成に関わる研究指導をおこなう。各自の研究の進捗状況を見ながら、先行研究・参考文献などに関する研究発表、修士論文の構想発表を課し、問題点・修正点を確認しつつ、修士論文の作成をめざす。		
到達目標(ねらい)	修士1年は修士論文のテーマを決定し、作成に至る工程を策定する。 修士2年は修士論文を作成する。		
授業スケジュール	受講者による研究発表を輪番でおこなう。また、史料・参考文献の調査・収集ないし解読、ならびに論文執筆のため、1日90分以上の時間を当てること。		
履修上の留意点等	自己管理を徹底し、スケジュールの遵守に努めること。		
成績評価の方法		試験	
		レポート	
		小テスト	
	100 %	平常点	
教科書/テキスト	なし		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	助言はおこなうが、基本的には、各自、調査・収集ないし解読に努めること。		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	昨年度、アンケートを実施していない。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			
アクティブラーニング型の授業科目			

履修コード/科目名称	823851 / 東洋史学特講Ⅱ【講義】	
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限
単位数	4	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	中村 淳 (ナカムラ ジュン)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	モンゴル時代史を扱う。Szerb Jánosの論文“Some Glosses on the Oeuvre of Bla-ma 'Phags-pa I-IV” (1983-1988)を講読しながら講義したい。	
到達目標(ねらい)	受講者には、英文読解能力の向上はもとより、モンゴル時代のチベットをめぐる諸問題についての理解を深め、基本的な史料の扱い方を修得してもらいたい。	
授業スケジュール	モンゴル時代史が「世界的な広がり」を持っているという事実を実感してもらうためにも、西はヨーロッパ、東は朝鮮半島・日本に残る史料を実際に提示しつつ講義を進めていきたい。受講者には、漢文・英語などの読解作業に可能な限り関わってもらおう。	
履修上の留意点等	出席点に加え、レポートを課してその評価を加味し、評価する。 なおこの授業では、30回の内、数回の課題授業を実施する。課題や実施形式等は第1回目の講義の際に説明する。	
成績評価の方法		試験
	20 %	レポート
		小テスト
	80 %	平常点
	出席点に加え、レポートを課してその評価を加味し、評価する。	
教科書/テキスト	必要な資料は基本的に授業時に配布する。	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	必要な資料は基本的に授業時に配布する。	
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため対象外。	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		
アクティブラーニング型の授業科目		

履修コード/科目名称	823871 / 東洋史学演習Ⅱ【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	中村 淳 (ナカムラ ジュン)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	おおむね10世紀以降を研究テーマにしたいと考えている学生を主な対象としたゼミです。		
到達目標(ねらい)	受講生各自が発表を繰り返すうちに、相互に刺激を受けながら、卒論に向けてより具体的な問題意識を見いだしてもらいたいと考えています。		
授業スケジュール	<p>〔前期〕</p> 第1回～第2回：ガイダンス 第3回～第4回：ICTと東洋史学 第5回：文献解題 第6回～第14回：受講生による調査研究の発表 第15回：前期の総括 <p>〔後期〕</p> 第16回：ガイダンス 第17回～第22回：受講生による「論文発表」 第23回～第27回：受講生による「一次文献発表」 第28回～第30回：卒論ガイダンス		
履修上の留意点等	出席を重視する。初回から必ず出席すること。他の受講生の発表からも、積極的かつどん欲に学ぶこと。 なおこの授業では、30回の内、数回の課題授業を実施する。課題や実施形式等は第1回目の講義の際に説明する。		
成績評価の方法		試験	
	20 %	レポート	
		小テスト	
	80 %	平常点	
			平常点にレポートの評価を加味し、総合的に評価する。
教科書/テキスト	必要な史料はプリントで配布。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	その都度、教示する。		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業アンケート未実施（授業アンケート対象外科目）		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			
アクティブラーニング型の授業科目			

履修コード/科目名称	823951 / 東洋史学特講IV【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	宮崎 洋一 (ミヤザキ ヨウイチ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	20世紀末頃から、中国の環境の歴史について、徐々にその成果が発表されてきた。環境と人間社会は相互に影響を及ぼしつつ、歴史を形成してきた。特に中国では、「環境問題大国」ともいわれるように、深刻な社会問題となっているためか、近年立て続けに環境史の研究書が上梓されている。本講義では、水害や干害などの災害を取り上げ、当時の人々が自然をどのように認識していたか、環境の変化をどのように理解していたのか、環境変化に適応するためにどのような行動を行ったか、災害にたいしてどのような対策を講じてきたか、などを検討してゆく。		
到達目標(ねらい)	<p>1. 「三つのポリシー」との関連性 環境史の視点(研究を行ううえで、どのように問題を設定すべきか)、自然環境の変化を歴史的問題としてとらえるためにとるべき方法(研究の手法)を提示しつつ、特に環境変化が激しかったと想定される10世紀以降の中国について検討する。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>① 10世紀以降の中国の歴史経過について概説できる。 ② 歴史研究の方法論を身に付けている。 ③ 災害史・環境史についての専門知識を身に付けている。 ④ 歴史を通して人間社会の問題点を指摘できる。</p>		
授業スケジュール	<p>1回: 導入その1-環境と歴史学- 環境史の方法論について検討する。</p> <p>第2回: 導入その2-現代中国の環境問題- 現在我々が解決すべき問題点について検討する。</p> <p>第3回: 導入その3-10世紀以降の中国の災害- 中国では歴史的にどのような災害が、どれほどの頻度で発生しているかを概観する。</p> <p>第4～8回: 環境史の先行研究 環境史に関する先行研究を読み、中国環境史の研究者たちが何を、どこまで分析してきたかを検討する。</p> <p>第9～15回: 黄河の治水問題 10世紀以降、黄河の氾濫が続発し、大きな被害を与えるが、13世紀以降、黄河は南流で安定する。この間の自然認識・治水技術などの変化を史料を通して分析する。</p> <p>第16～22回: 開発の進展と環境変化 自然状況に人為的に手を加える開発が進展することによって、その自然状況がどのように変化するか、その変化をどのようにとらえるのかを分析する。</p> <p>第23～29回: 長江の水害とその対策 19世紀以降、長江流域では水害が頻発するようになる。なぜ水害が増えるのか、どのように対策をとるのかを分析する。</p> <p>第30回: 環境の問題 我々が生きていくうえで、自然とどのように向き合うべきかを検討する。</p>		
履修上の留意点等	参考文献や史料に基づいて講義を行うが、その内容について質疑応答をしばしば行うため、事前に十分に下調べをしておくこと。		
成績評価の方法	試験		
	70%	レポート	
		小テスト	
		平常点	
	30%	ディスカッションの際の質疑応答	
教科書/テキスト	市販の教科書・テキストは使用しない。必要に応じて教員が参考資料を配布する。		
参考書	『講座 文明と環境』全15巻、朝倉書店、1995～97		

▶ 図書館蔵書検索	岩波講座『開発と文化』全7巻、岩波書店、1997～98 以上は、関連する叢書です。個別の参考文献については、必要に応じて講義中に紹介します。
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	アンケートの実施予定は無い。但し、授業についての疑義は常に受け付け、改善の必要を認めれば早急に対応する。
関連リンク	
実務経験がある教員による授業科目	
アクティブラーニング型の授業科目	



履修コード/科目名称	824021 / 東洋史学特講VI【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	須江 隆 (スエ タカシ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	<p>中国史上の宋代は、「唐宋変革」という概念からも明らかなように、一大変革期であったことは間違いありません。しかしこれまでは、文字通り、唐代との比較から、それとの相違点ばかりが強調され、300年間余り続いた宋代の時代性の把握が充分ではありませんでした。そこでこの授業では、宋代の時代性の推移を解明するために、北宋末期から南宋時代という過渡期を生きた知識人の洪邁が編纂した『夷堅志』に着目します。</p> <p>『夷堅志』に関する講義と史料読解演習を通じて、宋代社会の時代性や日常性の解明を目指していきます。また史料論的分析の視点からも『夷堅志』を捉え、その史料の全容解明と研究への活用の可能性も探っていきます。</p>		
到達目標(ねらい)	<p>この授業では、授業担当者の最新の研究を開示していく講義と史料読解演習により、漢文史料解析法への習熟を通じて、史料に依拠した専門的研究能力を身につけることを目標とします。</p> <p>①中国史上の宋代の時代性と日常性を、講義と史料読解演習を通じて理解することができる。</p> <p>②一時期を歴史的に把握するための研究の視点や手法を実践的に学び、修士論文の作成に向けた一連のプロセスの一部を、宋代社会史研究を具体的事例として身につけることができる。</p>		
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	ガイダンス授業
		準備学習 (予習・復習等)	シラバスの確認と授業の到達目標の理解 60分
	第2回	授業の計画・内容	洪邁と『夷堅志』について
		準備学習 (予習・復習等)	洪邁と『夷堅志』についての事前調査 講義ノートの整理 120分
	第3回	授業の計画・内容	『夷堅志』とそれが書かれた時代
		準備学習 (予習・復習等)	『夷堅志』が書かれた時代の事前調査 講義ノートの整理 120分
	第4回	授業の計画・内容	『夷堅志』研究の現状と課題Ⅰ
		準備学習 (予習・復習等)	配付資料の復習と講義ノートの整理 120分
	第5回	授業の計画・内容	『夷堅志』研究の現状と課題Ⅱ
		準備学習 (予習・復習等)	配付資料の復習と講義ノートの整理 120分
	第6回	授業の計画・内容	史料論としての『夷堅志』Ⅰ
		準備学習 (予習・復習等)	配付資料の復習と講義ノートの整理 120分
	第7回	授業の計画・内容	史料論としての『夷堅志』Ⅱ
		準備学習 (予習・復習等)	配付資料の復習と講義ノートの整理 120分
	第8回	授業の計画・内容	中国史研究者から見た『夷堅志』
		準備学習 (予習・復習等)	配付資料の復習と講義ノートの整理 120分
	第9回	授業の計画・内容	『夷堅志』読解演習に向けて
		準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業 120分
	第10回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習―「陽武四將軍」前半―

	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 11 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習―「陽武四將軍」後半―	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 12 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習―「杜郎中驢」―	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 13 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習―「黒風大王」―	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 14 回	授業の計画・内容	授業の中間総括	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 15 回	授業の計画・内容	課題学習 I ―訳注稿の作成―	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 16 回	授業の計画・内容	授業の振り返り I	
	準備学習 (予習・復習等)	配付資料や講義ノートの確認	60分
第 17 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習―「王徳柔枯蟹」―	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 18 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習―「李婆墓」―	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 19 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習―「宿遷諸尹」前半―	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 20 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習―「宿遷諸尹」後半―	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 21 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習 IX―「小珠山遺卵」―	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 22 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習 X―「呉臯保義」前半―	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 23 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習 XI―「呉臯保義」後半―	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 24 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習―「胡煌僕」前半―	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 25 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習―「胡煌僕」後半―	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
第 26 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習―「丹州石鏡鼓」―	
	準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分

	第 27 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習―「九龍廟」―	
		準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
	第 28 回	授業の計画・内容	『夷堅志』支甲巻第二読解演習―「野牛灘」―	
		準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
	第 29 回	授業の計画・内容	課題学習Ⅱ―訳注稿の作成―	
		準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業	120分
	第 30 回	授業の計画・内容	授業の振り返りⅡ、総括と課題(レポート)提出	
		準備学習 (予習・復習等)	完全版訳注稿提出に向けた作業 配付資料や講義ノートの確認	120分
履修上の留意点等	漢語史料訓読・読解のための基礎知識を修得している必要があります。			
成績評価の方法		試験		
	60 %	レポート		
		小テスト		
	40 %	平常点		
			課題学習Ⅰ・Ⅱに関わるレポート(60%)と授業内に担当してもらう史料読解演習等の平常点(40%)により、総合的に評価をおこないます。	
教科書/テキスト	毎回の授業時に、プリント(参考資料)を配布して授業をおこないます。授業で用いる史料読解演習用のテキストは、授業時に配布します。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	参考書については、授業中に随時紹介します。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため、授業アンケート未実施(授業アンケート対象外科目)			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	824201 / 西洋史学特講 I 【講義】	
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限
単位数	4	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	大城 道則 (オオシロ ミチノリ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	修士論文の作成・検討に必要な議論の場を提供する。	
到達目標(ねらい)	二年の課程内で一定のレベルを超えた修士論文を提出する。	
授業スケジュール	修士論文作成の手助けとなる情報および受講生の論題に関する具体的な思考法を提供する。	
履修上の留意点等	止むを得ず欠席の場合はメールで事前に連絡すること。	
成績評価の方法		試験
	50 %	レポート
		小テスト
	50 %	平常点
教科書/テキスト	特に指定しない。	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため対象外	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		
アクティブラーニング型の授業科目		

履修コード/科目名称	824221 / 西洋史学演習 I 【演習】	
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限
単位数	4	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	大城 道則 (オオシロ ミチノリ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	修士論文の作成指導	
到達目標(ねらい)	一定レベル以上の修士論文の作成を目指す。	
授業スケジュール	与えられた課題、例えば「古代エジプトの神殿の構造について説明せよ」、「ナカダ2期の彩文土器の持つ装飾の意味とは何か」について調べ、ゼミ内で発表・議論する。	
履修上の留意点等	止むを得ず欠席する場合は事前にメールで連絡すること。	
成績評価の方法		試験
		レポート
		小テスト
		平常点
	100 %	ゼミ内におけるプレゼンテーション
教科書/テキスト	特に指定しない。	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため対象外	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		
アクティブラーニング型の授業科目		

履修コード/科目名称	824251 / 西洋史学特講Ⅱ【講義】	
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限
単位数	4	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	高田 良太 (タカダ リョウタ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	西欧中世に関する外国語の文献を読む。文献に関しては、受講者との相談によって決める。	
到達目標(ねらい)	修士論文において一次史料や二次文献を使いこなすことができるよう能力を身につけることが目的となる。	
授業スケジュール	第1回目： 授業のねらいと目的について説明するとともに、読み進めていく文献を決める。 第2回目以降： 文献を読み進める。	
履修上の留意点等		
成績評価の方法		試験
		レポート
		小テスト
	100 %	平常点
教科書/テキスト		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	学生の能力と適性に応じた指導をこころがける。	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		
アクティブラーニング型の授業科目		

履修コード/科目名称	824271 / 西洋史学演習Ⅱ【演習】	
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限
単位数	4	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	高田 良太 (タカダ リョウタ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	修士論文作成のための演習形式の授業	
到達目標(ねらい)	修士1年生は、修論作成のための基礎力をつける。修士2年生は修論を完成させる。	
授業スケジュール	第1回：イントロダクション 第2回～第30回：英書輪読、邦語文献に基づく発表などを実施する。	
履修上の留意点等	主体的に授業に関わることが強く求められる。 授業の一環として、学会などに参加することがある。	
成績評価の方法		試験
		レポート
		小テスト
	100 %	平常点
教科書/テキスト	受講者と相談のうえ決定する。	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	適宜に指示する。	
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	学生の能力と適性に応じた指導をこころがける。	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		
アクティブラーニング型の授業科目		

履修コード/科目名称	824301 / 西洋史学特講Ⅲ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	佐々木 真(ササキ マコト)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	西洋近代史研究に際して必要な外国語文献を受講生とともに講読し、それへの解説を行う。文献は著作や論文で、次のようなものを考えている。1) 研究史を理解する上で重要なもの。2) 最新の研究動向を扱ったもの。3) 西洋近代史研究の方法論に関係するもの。以上から、受講生の希望を勘案したうえで、文献を決定する。		
到達目標(ねらい)	講読を通じ、外国語のテキストを正確に読む能力を身につけることを目標とする。		
授業スケジュール	授業はあらかじめ指名した受講生に内容についての報告をしてもらい、それに解説を加えることで進めていく。 第1回 ガイダンス 第2回～ 文献の講読		
履修上の留意点等	・ 毎回、60分以上の予習が必須である。		
成績評価の方法		試験	
	30 %	レポート	
		小テスト	
	70 %	平常点	
		成績については、報告の内容と学年末のレポートにより決定する。	
教科書/テキスト	テキストについては、授業開始時に決定し、コピーを配布する。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業で講読する文献や講読方法について、定期的に受講生と意見交換し、授業内容の改善に努めていく。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			
アクティブラーニング型の授業科目			

履修コード/科目名称	824321 / 西洋史学演習Ⅲ【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	佐々木 真 (ササキ マコト)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	西洋史近代史研究に必要な力を養成するとともに、各受講生の研究指導を行う。		
到達目標(ねらい)	修士論文の作成に向けて、適切な方法論や史料論を身につけることを目標とする。		
授業スケジュール	西洋近代史にかんして、歴史理論や研究内容についての最新動向を検討する。授業はおもに、外国語による最新の著作を講読することにより行う。また、必要に応じ、1人につき年に何回か、受講生に各人の研究内容についての報告をしてもらいます。 第1回 ガイダンス 第2回～第30回 テキストの講読 ※必要に応じて、受講生により報告を実施する。		
履修上の留意点等	・ 毎回、60分以上の予習が必須である。		
成績評価の方法		試験	
	30 %	レポート	
		小テスト	
	70 %	平常点	
		成績については、報告の内容と学年末のレポートにより決定する。	
教科書/テキスト	使用する文献や具体的な進め方は、初回の授業に受講生と相談して決定する。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	講読する文献や講読の方法、発表のやり方などは、常に受講生と意見交換することで決定する。そこで出た受講生の意見や要望を授業改善に反映させていく。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			
アクティブラーニング型の授業科目			

履修コード/科目名称	824351 / 西洋史学特講IV【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	井上 文則 (イノウエ フミノリ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	ローマ帝国期に流行したミトラス教に関する諸問題を論じる。		
到達目標(ねらい)	西洋古代史およびその研究方法について学ぶ。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	オリエンテーション
		準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	ミトラス教研究史 その1
		準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	ミトラス教研究史 その2
		準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	ミトラス教研究史 その3
		準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	インドにおけるミトラ崇拜
		準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	イランにおけるミトラ崇拜 その1
		準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	イランにおけるミトラ崇拜 その2
		準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	ヘレニズム時代のミトラ崇拜 その1
		準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	ヘレニズム時代のミトラ崇拜 その2
		準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	ヘレニズム時代のミトラ崇拜 その3
		準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	ミトラス教の形成 その1
		準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	ミトラス教の形成 その2
		準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。 60分

第 13 回	授業の計画・内容	ミトラス教の拡大 その 1	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	ミトラス教の拡大 その 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	ミトラス教の拡大 その 3	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	ミトラス教の拡大 その 4	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	ミトラス教の拡大 その 5	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	ミトラス教と皇帝 その 1	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	ミトラス教と皇帝 その 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	ミトラス教の神話と儀礼 その 1	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	ミトラス教の神話と儀礼 その 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	ミトラス教の教義 その 1	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	ミトラス教の教義 その 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	ミトラス教の教義 その 3	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	ミトラス教とキリスト教 その 1	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	ミトラス教とキリスト教 その 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	ミトラス教とキリスト教 その 3	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	ミトラス教の最期 その 1	
	準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
第 29 回	授業の計画・内容	ミトラス教の最期 その 2	

		準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	まとめ	
		準備学習 (予習・復習等)	配布プリント及び参考文献の読み込み。	60分
履修上の留意点等				
成績評価の方法		試験		
	40 %	レポート		
		小テスト		
	60 %	平常点		
		出席と授業参加状況、レポート課題で判断する。		
教科書/テキスト				
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業時に適宜指示する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について				
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	824421 / 西洋史学特講VI【講義】	
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限
単位数	4	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	藪本 将典 (ヤブモト マサノリ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	<p>「ゲルマン法」・「ローマ法」・「教会法」という、ヨーロッパ法の3要素がはじめて学問的に整理され、徐々に研究成果の蓄積・洗練を見たのが、いわゆる「中世」という時代であった。</p> <p>そこで本講では、中世における学問としての「法学 jurisprudentia」（特に中世ローマ法学）の隆盛を中心的視座に据え、ヨーロッパ中世法史のダイナミズムを概観する。</p>	
到達目標(ねらい)	<p>「社会あるところ、法あり ubi societas, ibi ius」という法格言に端的に示されるように、社会規範たる法の歴史の変遷をたどることで、政治・文化史の一翼を担う、法文化史の素養を習得すること。</p>	
授業スケジュール	<p>◇はじめに：ヨーロッパ法史におけるローマ法の意義（1回）</p> <p>◇前史：帝国の残照～後期古代におけるローマ法の伝播と残滓～（2回）</p> <p>◇ゲルマン法再考～「中世」のはじまり～（3回）</p> <p>◇都市と農村～社会・経済的枠組み～（3回）</p> <p>◇12世紀ルネサンスとスコラ学～大学における「学問 scientia」の誕生～（3回）</p> <p>◇ローマ法の再発見と「註釈学派 glossatores」の興隆～「法学 jurisprudentia」の誕生～（4回）</p> <p>◇教会法学の確立：「教令集学派 decretist」と「教皇令集学派 decretalist」～倫理と法～（3回）</p> <p>◇オルレアン学派の勃興～「固有法 ius proprium」たる「慣習法 consuetudo」の法源性～（3回）</p> <p>◇「註解学派 commentators」隆盛～「書かれた理性 ratio scripta」たるローマ法の確立～（4回）</p> <p>◇人文主義法学の衝撃～「イタリア学風 mos italicus」と「フランス学風 mos gallicus」（3回）</p> <p>◇補足と総括（1回）</p>	
履修上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受講者の理解度に応じて講義の進度や内容を調整し、適宜文献講読（主に英語・仏語）も行う。</li> <li>・ 講義資料は教員が随時配布する。</li> <li>・ その他、講義の詳細については、開講時に受講者と相談のうえ決定する。</li> </ul>	
成績評価の方法	試験	
	レポート	
	小テスト	
	100 % 平常点	
教科書/テキスト	<p>◇ P. スタイン 『ローマ法とヨーロッパ』 屋敷二郎 監訳、ミネルヴァ書房、2003年。</p> <p>◇ H. Dondorp and E.J.H. Schrage, <i>The Sources of Medieval Learned Law</i>, in J.W. Cairns and P. du Plessis (ed.), <i>The Creation of the Ius Commune, from Causus to Regula</i>, Edinburgh University Press, 2010.</p> <p>◇ J. Gordley, <i>Ius Quaerens Intellectum: The Method of the Medieval Civilians</i>, in <i>Ibid.</i></p>	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	<p>◇ 碧海純一／伊藤正巳／村上淳一 編 『法学史』 東京大学出版会、1976年。</p> <p>◇ 勝田有恒／森征一／山内進 編著 『概説 西洋法制史』 ミネルヴァ書房、2004年。</p> <p>◇ 勝田有恒／山内進 編著 『近世・近代ヨーロッパの法学者たち—グラウティアヌスからカール・シュミットまで』 ミネルヴァ書房、2008年。</p>	
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改	大学院科目のため該当せず。	

善について	
関連リンク	
実務経験がある教員による授業科目	
アクティブラーニング型の授業科目	

履修コード/科目名称	824701 / 考古学特講Ⅲ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	角道 亮介 (カクドウ リヨウスケ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	考古学の研究をするためには、まずは考古学の研究法を学ばねばならない。本講義では研究者として身につけておくべき考古学上の諸理論を原書講読の形を通じて学び、様々なアプローチの有効性について検討する。		
到達目標(ねらい)	様々な先行研究にあらわれる研究理論を理解し吟味したうえで、自身の研究に役立てる。  本科目は、人文科学研究科歴史学専攻の学位授与の方針DP1と特に関連が強く、DP2にも関連する。		
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容 ガイダンス： 授業スケジュールについて 準備学習 (予習・復習等)	復習：授業スケジュールを念頭に、年間の研究計画を立てること。 60分
	第2回	授業の計画・内容 考古学史の歴史1：考古学史の重要性 準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。 60分
	第3回	授業の計画・内容 考古学学史の歴史2：社会的背景 準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。 60分
	第4回	授業の計画・内容 古典考古学の展開1：過去への興味と中世の歴史観 準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。 60分
	第5回	授業の計画・内容 古典考古学の展開2：ルネサンスと古典考古学のあゆみ 準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。 60分
	第6回	授業の計画・内容 古典考古学の展開3：エジプト学とアッシリア学 準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。 60分
	第7回	授業の計画・内容 古典考古学の展開4：東アジアにおける「考古」の展開 準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。 60分
	第8回	授業の計画・内容 考古学の誕生1：古物趣味と啓蒙主義 準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。 60分
	第9回	授業の計画・内容 考古学の誕生2：石器と先史考古学 準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。 60分
	第10回	授業の計画・内容 考古学の誕生3：進化論と考古学 準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。 60分
	第11回	授業の計画・内容 考古学の誕生4：人種主義と社会進化論 準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。 60分
	第12回	授業の計画・内容 考古学の誕生5：植民地考古学と差別主義	

	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	文化史的考古学1：伝播と文化	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	文化史的考古学2：チャイルドとヨーロッパの文化編年	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	前期のまとめ：古物趣味から文化史的考古学まで	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	文化史的考古学3：アメリカの文化史的考古学	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の萌芽1：環境と社会人類学	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の萌芽2：人類経済学と考古学	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の萌芽3：社会主義と考古学研究	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の萌芽4：技術研究と機能主義	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の萌芽5：生態学的研究とセツルメント論	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の発展1：新進化主義	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の発展2：ビンフォードとニューアーケオロジー	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	プロセス考古学の発展3：中範囲理論と高位理論	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	ポストプロセス考古学の出現1：プロセス考古学の問題点	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	ポストプロセス考古学の出現2：複雑化するアプローチ	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	ポストプロセス考古学の出現3：思想・個人・技術	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	後期のまとめ1：文化史的考古学から初期の機能主義へ	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分

	第 29 回	授業の計画・内容	後期のまとめ2：プロセス考古学とポストプロセス考古学	
		準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	総括： 考古学の理論	
		準備学習 (予習・復習等)	予習：授業で扱うテキスト該当ページをよく読みこみ、不明な用語などを調べておくこと。	60分
履修上の留意点等	理論の修得は全ての研究の基礎となる重要なテーマである。恐れず積極的に参加してほしい。 基本的には外国語文献の講読を予定しているが、参加者の状況に応じて調整したい。			
成績評価の方法		試験		
	40 %	レポート		
		小テスト		
	60 %	平常点		
教科書/テキスト	初回授業時に指示する。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業において適宜指示する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	アンケート実施対象外科目。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	824721 / 考古学演習Ⅲ【演習】			
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限		
単位数	4			
付記				
主担当教員氏名(カナ)	角道 亮介 (カクドウ リヨウスケ)			
副担当教員氏名(カナ)				
授業概要	殷周青銅器銘文の釈読を行う。また、必要に応じて履修者の研究発表も行う。			
到達目標(ねらい)	中国殷周時代の青銅器銘文を主な対象資料とし、履修者全員で釈読することを通じて当時の社会・思想への理解を深める。  本科目は、人文科学研究科歴史学専攻の学位授与の方針DP1・DP2と特に関連が強く、DP3にも関連する。			
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	殷周青銅器銘文について	
		準備学習 (予習・復習等)	復習：授業で提示された資料の所在を確認し、利用できる環境を整えること。	60分
	第 2 回	授業の計画・内容	金文の読み方1：金石学と金文釈読の歴史	
		準備学習 (予習・復習等)	復習：授業で提示された資料の所在を確認し、利用できる環境を整えること。	60分
	第 3 回	授業の計画・内容	金文の読み方2：工具書とその利用方法	
		準備学習 (予習・復習等)	復習：授業で提示された資料の所在を確認し、利用できる環境を整えること。	60分
	第 4 回	授業の計画・内容	殷周青銅器の器種と型式変化1：烹煮器の型式	
		準備学習 (予習・復習等)	復習：授業で提示された資料の所在を確認し、利用できる環境を整えること。	60分
	第 5 回	授業の計画・内容	殷周青銅器の器種と型式変化2：酒器の型式	
		準備学習 (予習・復習等)	復習：授業で提示された資料の所在を確認し、利用できる環境を整えること。	60分
	第 6 回	授業の計画・内容	研究発表1	
準備学習 (予習・復習等)		予習：自身の発表テーマに関する資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、疑問を解決すること。	60分	
第 7 回	授業の計画・内容	研究発表2		
	準備学習 (予習・復習等)	予習：自身の発表テーマに関する資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、疑問を解決すること。	60分	
第 8 回	授業の計画・内容	金文釈読1		
	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、疑問を解決すること。	120分	
第 9 回	授業の計画・内容	金文釈読2		
	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、疑問を解決すること。	120分	
第 10 回	授業の計画・内容	金文釈読3		
	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、疑問を解決すること。	120分	
第 11 回	授業の計画・内容	金文釈読4		

	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 12 回	授業の計画・内容	金文釈読5	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 13 回	授業の計画・内容	金文釈読6	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 14 回	授業の計画・内容	研究発表3	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：自身の発表テーマに関する資料を収集し整理す ること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	前期のまとめ：青銅器と銘文	
	準備学習 (予習・復習等)	復習：自身の発表テーマに関する資料を収集し整理す ること。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	殷周青銅器の鑄造技法について1：鑄造痕跡と鑄型	
	準備学習 (予習・復習等)	復習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	殷周青銅器の鑄造技法について2：紋様の鑄造について	
	準備学習 (予習・復習等)	復習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	殷周青銅器の鑄造技法について3：銘文の鑄造について	
	準備学習 (予習・復習等)	復習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	金文釈読7	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 20 回	授業の計画・内容	金文釈読8	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 21 回	授業の計画・内容	金文釈読9	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 22 回	授業の計画・内容	金文釈読10	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 23 回	授業の計画・内容	研究発表4	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：自身の発表テーマに関する資料を収集し整理す ること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 24 回	授業の計画・内容	研究発表5	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：自身の発表テーマに関する資料を収集し整理す ること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 25 回	授業の計画・内容	金文釈読11	

	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 26 回	授業の計画・内容	金文釈読12	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 27 回	授業の計画・内容	金文釈読13	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 28 回	授業の計画・内容	金文釈読14	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 29 回	授業の計画・内容	金文釈読15	
	準備学習 (予習・復習等)	予習：扱う銘文の資料を収集し整理すること。 復習：授業で指摘された問題点について調査を進め、 疑問を解決すること。	120分
第 30 回	授業の計画・内容	総括：青銅器銘文の役割	
	準備学習 (予習・復習等)	復習：銘文釈読に必要な工具書の利用方法について再 確認すること。	60分
履修上の留意点等	古文字は一朝一夕に読めるようになるものではない。地道な予習・復習を心掛けてほしい。		
成績評価の方法	試験		
	レポート		
	小テスト		
	平常点		
	100 %	研究発表・金文釈読	
教科書/テキスト	初回授業時に指示する。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業中に適宜指示する。		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	アンケート実施対象外科目であるが、授業への要望があれば遠慮なく伝えてほしい。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			
アクティブラーニング型の授業科目	授業内で、ディスカッションやプレゼンテーションを実施する。		

履修コード/科目名称	824751 / 考古学特講Ⅳ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	土生田 純之 (ハプタ ヨシユキ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	今年度は横穴式石室を素材とする。横穴式石室と関連するすべての研究素材との比較を意識して進めたい。		
到達目標(ねらい)	横穴式石室の概要		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	棺と槨 学史上、有名な棺槨論争についてその概要を紹介する。90分
		準備学習 (予習・復習等)	棺槨論争の研究史を学んでおくこと。 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	縦穴式石室と横穴式石室 構造上の問題をはじめあらゆる観点から比較する。90分
		準備学習 (予習・復習等)	両石室の相違を考慮しておくこと。 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	地域の古墳と横穴式石室の形態 横穴式石室は地域差が多い。この概要を説明する。90分
		準備学習 (予習・復習等)	地域差が大きい横穴式石室なので、各自の出身地の石室をまとめておくこと。 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	九州の横穴式石室 九州の横穴式石室は地理的な問題もあって他所のどこより極めて早い時期に横穴式石室を受け入れた。その概要を説明する。90分
		準備学習 (予習・復習等)	九州の石室も地域差があるので、その差異について考えておくこと。 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	畿内型石室の登場 畿内型石室の成立によって汎列島的によこあなしきせきしつがじゅようされる d 代が形成された。このことを学習する。90分
		準備学習 (予習・復習等)	畿内型石室の登場が、なぜ他地方の埋葬主体を横穴式石室に変化させたのか考究しておくこと。 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	畿内型石室の展開 畿内型石室は概ね石材の大型化と精美化に向かう。その概要を説明する。90分
		準備学習 (予習・復習等)	各自出身地の横穴式石室の展開が畿内型石室と同様か否かあらかじめ考えておくこと。 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	指標石について 横穴式石室の構築は両袖部に立てた立柱石と奥壁を指標として、その中間を埋めるように構築する。その概要を説明する。90分
		準備学習 (予習・復習等)	各自出身地の横穴式石室にも指標石が存在するのかの有無について考えておくこと。 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	調整区の存在 前回の講義による指標石を目安に構築するが、どうしてもうまく合わない箇所が最後に残る。この部分は他より小型の石材によって埋めあわせることになる。その概要から判明する実態について触れる。90分
		準備学習 (予習・復習等)	各自の出身地の横穴式石室が畿内と同様の方法であるか否かについて官衛しておくこと。 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	古墳築造と横穴式石室 これまで横穴式石室の研究は石室そのものの把握にとどまっていた。しかし、実際は墳丘構築との関連性の中にある。今回はこのことを学ぶ。90分
		準備学習 (予習・復習等)	やはり各自出身地の横穴式石室と墳丘構築の関連性が認められるものか考えること。 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	調整区のない横穴式石室の登場 およそ7世紀になると(もちろん地域によって差異があるが)調整区のない石室が登場する。その実態を説明する。90分

	準備学習 (予習・復習等)	各自出身地の横穴式石室について、調整区のない石室の登場期を考えておくこと。	60分
第 11 回	授業の計画・内容	地域差による調整区のない石室の登場 調整区のない石室の登場・時期が地域によって差異が目立つ。その実態を説明する。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	なぜ地域によって調整区市鶴の登場が異なるのか考察しておくこと。	60分
第 12 回	授業の計画・内容	調整区のない横穴式石室と寺院建築の関係 調整区のない横穴式石室の登場は、寺院建築、中でも基壇外面の化粧基壇と関連する。このことを考える。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	各自出身地の古代寺院中最古と目さる寺院を把握しておくこと。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	総合的な横穴式石室の歴史的意義 これまで学んだことをめぐって全員で議論する。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	これまで学んだ横穴式石室から何が得られるか歴史的な意義を考究しておくこと。	90分
第 14 回	授業の計画・内容	縦穴式石室と横穴式石室にみる死後の世界観 ヤマトタケル伝説と黄泉国訪問譚にみる死生観の変遷を考える。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	記紀の記事中、関連する部分を読んでおくこと。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	縦穴系埋葬施設の死後の世界 ヤマトタケル伝説は縦穴式石室の儀礼とも関連する。このことを考える。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	ヤマトタケル伝説の中で、どのようなことが考えられるかあらかじめチェックしておくこと。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	横穴系埋葬施設の死後の世界 横穴系埋葬施設の受容は思想上の一大変革期でもあった。このことをめぐる諸説を検討する。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	黄泉国訪問譚から、葬送儀礼の何が判明するか考えておくこと。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	朝鮮半島の横穴式石室(1) 近年の調査によって九州系および畿内型石室が百済石室の影響であることがわかってきた。このことを解説する。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	朝鮮半島の横穴式石室についての論文を読んでおくこと。なお、論文はあらかじめ指定する。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	朝鮮半島の横穴式石室(2) 百済石室のほかに加耶の細長方形石室の影響も考えられるため、半島の横穴式石室を一瞥する。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	加耶の石室(細長方形石室)に関する論文をあらかじめ読んでおくこと。これについても指定する。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	朝鮮半島の横穴式石室(3) 列島における横穴式石室の諸形態と半島の石室との関連性について逐一考察することによって。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	列島内におけるどの地域の横穴式石室と半島の度の石室が関連性があるかあらかじめ考察すること。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	畿内型石室と百済の横穴式石室 畿内型石室は単に百済石室の影響のみではないが、その相違についても留意しつつ考察する。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	畿内型石室と百済の石室との相違について考察しておくこと。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	儀礼の変化からみた横穴式石室 横穴式石室はそれまでの縦穴式石室とは異なった儀礼をももたらしたが、当然儀礼の内容も石室受容後谷港に変化した。このことを確認する。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	横穴式石室における儀礼の実態を考えられる限り列挙しておくこと。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	横口式石槨と渡来人 横口式石槨はのちの畿内地方に成立する。しかし当初は渡来人集住地に限定された。このことの史的背景を考究する。90分	
	準備学習 (予習・復習等)	朝鮮半島における横口式石槨の実例を把握すること。	60分





履修コード/科目名称	824801 / 考古学特講Ⅴ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	高久 健二 (タカク ケンジ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	この講義では、朝鮮半島の考古学のうち、青銅器時代～三国時代までを扱う予定である。朝鮮半島と日本列島は活発な交流が行われており、両者は歴史的・文化的に密接な関係にある。したがって、日本列島の文化を理解する上で、朝鮮半島の文化の理解は不可欠である。今回の講義で取り扱う青銅器時代～三国時代は、日本列島の弥生時代～古墳時代に当たり、活発な対外交流が行われていた時代として知られている。このような対外交流を通じて導入された新たな文化や技術が、日本列島の国家形成に少なからず影響を与えた。この講義では、大韓民国や朝鮮民主主義人民共和国における考古学的調査・研究成果を中心に論じるが、必要に応じて日本や中国との関係についても触れていく。		
到達目標(ねらい)	朝鮮半島における考古学的調査・研究成果、および東アジアにおける朝鮮考古学の意義を理解することを目的とする。具体的には、以下の3点を目標とする。 (1)各時代における考古学的な発掘調査成果を理解する。 (2)各時代における編年研究および文化的特徴を理解する。 (3)各時代における周辺地域(中国大陸や日本列島など)との関係を理解する。		
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	講義の概要と目的
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書を確認しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。
			60分
	第2回	授業の計画・内容	朝鮮半島における青銅器時代の文化(1)－集落遺跡－
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。
			60分
	第3回	授業の計画・内容	朝鮮半島における青銅器時代の文化(2)－生業と青銅器の出現－
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。
			60分
	第4回	授業の計画・内容	朝鮮半島の支石墓文化(1)－支石墓の形態と変遷－
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。
			60分
	第5回	授業の計画・内容	朝鮮半島の支石墓文化(2)－支石墓に見られる階層性と社会背景－
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。
			60分
	第6回	授業の計画・内容	朝鮮半島における初期鉄器時代の文化(1)－集落遺跡・墳墓遺跡－
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。
			60分
	第7回	授業の計画・内容	朝鮮半島における初期鉄器時代の文化(2)－青銅器・鉄器－
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。
			60分
	第8回	授業の計画・内容	楽浪郡の文化(1)－郡県の位置問題と土城－
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。
			60分
	第9回	授業の計画・内容	楽浪郡の文化(2)－古墳文化－
		準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。
			60分
	第10回	授業の計画・内容	帯方郡の土城と古墳(1)－土城－

	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 11 回	授業の計画・内容	帯方郡の土城と古墳(2)－古墳文化－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 12 回	授業の計画・内容	原三国時代の文化(1)－集落遺跡と古墳文化－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	原三国時代の文化(2)－対外交流－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	青銅器時代から原三国時代までのまとめと総括	
	準備学習 (予習・復習等)	青銅器時代から原三国時代までの講義内容を復習しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	高句麗の都城(1)－平壤の都城－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	高句麗の都城(2)－集安の都城－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	高句麗の古墳文化(1)－積石塚－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	高句麗の古墳文化(2)－壁画古墳－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	新羅の都城と寺院(1)－都城－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	新羅の都城と寺院(2)－寺院－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	新羅の古墳文化(1)－積石木槨墓－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	新羅の古墳文化(2)－横穴式石室墓－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	百済の都城と寺院(1)－都城－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	百済の都城と寺院(2)－寺院－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	百済の古墳文化(1)－積石塚・横穴式石室墓－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	百済の古墳文化(2)－埴室墓－	
	準備学習	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。ま	60分

	(予習・復習等)	た、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	
第 27 回	授業の計画・内容	加耶諸国の古墳文化（１）－金官国・大加耶国・安羅国の古墳－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	加耶諸国の古墳文化（２）－古自国・多羅国・比自火国の古墳－	
	準備学習 (予習・復習等)	講義の前に参考書の該当部分を熟読しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 29 回	授業の計画・内容	三国時代のまとめと総括	
	準備学習 (予習・復習等)	三国時代の講義内容を復習しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
第 30 回	授業の計画・内容	総括	
	準備学習 (予習・復習等)	青銅器時代から三国時代までの講義内容を復習しておくこと。また、講義後は講義内容を整理し、まとめておくこと。	60分
履修上の留意点等	特になし。		
成績評価の方法	試験		
	レポート		
	小テスト		
	100 % 平常点		
教科書/テキスト	特になし。プリント資料を配布する。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国考古学会編；庄田慎矢，山本孝文訳2013『概説韓国考古学』同成社</li> <li>・吉井秀夫2010『古代朝鮮墳墓にみる国家形成』京都大学学術出版会</li> </ul>		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため、授業アンケート未実施（授業アンケート対象外科目）		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			
アクティブラーニング型の授業科目			

履修コード/科目名称	824851 / 考古学特講Ⅵ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	設楽 博己 (シタラ ヒロミ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	<p>弥生時代のはじまりは、日本列島において最も大きな歴史的転換の一つであった。この転換は、朝鮮半島や中国からの影響を背景にしたもので、大陸的な文化要素は弥生文化の骨格をなす。一方、縄文文化もいたるところに継承されている。これまで弥生文化の研究では、縄文文化の要素の研究はなおざりにされてきた。本講義ではこの点に着目しながら、様々な観点から縄文時代の社会と弥生時代の社会を比較し、その異質性と継承関係を踏まえつつ、縄文時代から弥生時代への変化を追う。生業・集落・社会組織・祖先祭祀・文化の継承性・生産と流通・クニへの歩みに焦点を当てた講義を行う。</p> <p>第2回目以降の講義は、毎回、事前学習によってわからなかった部分の質疑応答から始めることにする。</p>		
到達目標(ねらい)	<p>縄文時代と弥生時代の社会と文化の授業を通じて、それぞれの基礎的知識を獲得し、縄文時代・縄文文化とはなにか、弥生時代・弥生文化とはなにかを考え、縄文時代から弥生時代への転換が日本やアジアの歴史にとってどのような意味をもっていたのか思いめぐらすきっかけとする。</p>		
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	イントロダクション
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。 60分
	第2回	授業の計画・内容	「弥生文化観の形成(1)」 日本における近代考古学の成立から、蒔田鎗次郎の弥生土器論をへて、八木契三郎の中間土器論、中山平次郎の金石併用期論の展開や、鳥居龍蔵の固有日本人論の形成といった、明治・大正期の考古学・人類学史を扱う。
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。 60分
	第3回	授業の計画・内容	「弥生文化観の形成(2)」 山内清男の日本遠古の文化、森本六爾と小林行雄、杉原荘介ら東京J考古学会の弥生文化論と戦後の唯物史観にもとづく藤間生大や和島誠一、近藤義郎の弥生文化論までを扱う。
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。 60分
	第4回	授業の計画・内容	「もう二つの日本文化」 続縄文文化と貝塚後期文化を論じ、北海道と沖縄地方に生じた非農耕文化と、そのことの歴史的な意義を論じる。
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。 60分
	第5回	授業の計画・内容	「縄文農耕と弥生農耕の違い」 『食の体系』のテーマ①として、農耕の問題を扱う(教科書第1章-1)。
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。 60分
	第6回	授業の計画・内容	「採集狩猟民的漁撈と農耕民的漁撈」 『食の体系』のテーマ②として、漁撈の問題を扱う(教科書第1章-2)。
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。 60分
	第7回	授業の計画・内容	「動物観の変遷」 『食の体系』のテーマ③として、狩猟の問題と、動物に対する縄文文化と弥生文化の考え方の違いを、精神文化の側面を含めて考える(教科書第1章-3)。
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。 60分

第 8 回	授業の計画・内容	「環状集落と環濠集落」 『ムラの姿の変貌』のテーマ①として、縄文文化と弥生文化に特徴的な集落形態を取り上げ、その形態の違いの由来と意義を 探る（教科書第2章-2）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 9 回	授業の計画・内容	「弥生都市論の評価」 『ムラの姿の変貌』のテーマ②として、弥生時代の大型集落を 都市と理解する考え方を紹介し、論評する（教科書第2章-3） 。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 10 回	授業の計画・内容	「家族のあり方」 『集団組織の変化』のテーマ①として、縄文時代と弥生時代の 親族組織をどのように把握すればよいのかを踏まえつつ、それ ぞれの文化の集落のメンバーシップについて考える（教科書第2 章-1）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 11 回	授業の計画・内容	「縄文時代の土偶と石棒」 『集団組織の変化』のテーマ②として、縄文時代を代表する呪 術的遺物である土偶と石棒を取り上げ、縄文時代の男女の象徴 性とその根差すところを論じる（教科書第3章-1）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 12 回	授業の計画・内容	「弥生時代における男女一対の観念とその由来」 『集団組織の変化』のテーマ③として、縄文時代の土偶が弥生 時代にはどのように変化していくのか、またその背景を土偶形 容器や分銅形土製品などから探る（教科書第3章-2・3）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	「巨大な耳飾りの役割と抜歯の意義」 『人生の節目』のテーマ①として、縄文時代の通過儀礼の実態 と、そこから導き出せる社会的な意義に対する機能論的な解釈 （教科書第4章-1・2）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	「イレズミの変容」 『人生の節目』のテーマ②として、イレズミの歴史を探る。『 古事記』『日本書紀』と人物埴輪から古代のイレズミ実在論を 展開し、絵画や土偶などから縄文時代へと型式学的に遡及して 、イレズミの性格変化とその意義を探る（教科書第4章-3）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	「縄文時代の祖先祭祀」 『祖先のまつり』のテーマ①として、縄文時代の葬墓制を取り 上げて、文化人類学による祖先祭祀の要件を適応しつつ、縄文 時代の祖先祭祀のあり方と特質を推測する（教科書第5章-1） 。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	「弥生再葬墓の形成とその背景」 『祖先のまつり』のテーマ②として、弥生時代の東日本に展開 した再葬墓を取り上げ、その形成要因の一端を祖先祭祀ととら えて、縄文時代からの文化の継承と変容を探る（教科書第5章- 2）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	「大陸由来の祖先祭祀」 『祖先のまつり』のテーマ③として、弥生文化のなかに中国か らの影響、すなわち大陸由来の祖先祭祀をとらえて、その展開 過程を墳墓祭祀から明らかにする（教科書第5章-3）。	
	準備学習		

	(予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	「弥生土器の成立と縄文土器」 『受け継がれる縄文文化』のテーマ①として、弥生前期初頭の板付Ⅰ式弥生土器を取り上げ、その文様の成立に亀ヶ岡式土器が影響を与えていたことを論じる（教科書第6章－1）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	「木葉文と流水文」 『受け継がれる縄文文化』のテーマ②として、弥生前期の遠賀川式土器に施された木葉文と流水文という代表的な文様を取り上げ、いずれもその源流が縄文晩期の東日本の土器にあることを論じる（教科書第6章－2）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	「銅鐸文様の起源」 『受け継がれる縄文文化』のテーマ③として、大阪府東奈良遺跡出土銅鐸文様を取り上げ、菱環鈕式銅鐸の文様も踏まえながら、それらが東日本の晩期縄文土器の文様に由来することとその意義を考える（教科書第6章－3）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	「石器の生産と流通」 『生産と流通の変化』のテーマ①として、縄文時代の石器の生産・流通と弥生時代のそれを比較しながら、どこが異なるのか、またその歴史的意義がどこにあるのか学習する（教科書第7章－1）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	「渡来系の人々と青銅器生産」 『生産と流通の変化』のテーマ②として、弥生時代中期初頭の渡来系土器を出土する地域の土器と青銅器の鋳型や鉄器を取り上げて、その背景といかにその時期が縄文～弥生時代を通じて歴史の画期となっていたのかを探る（教科書第7章－2）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	「石器から鉄器へー地域間の関係性の変化ー」 『生産と流通の変化』のテーマ③として、鉄器がどのように日本列島に導入されて、どのように拡散していくのか、韓半島の鉄器生産のと倭系遺物のあり方を抑えながら、弥生時代の鉄器の受容ありようとその歴史的意義を探る（教科書第7章－3）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	「アメリカ北西海岸の先史社会とネイティブアメリカンの考古学」 アメリカ北西海岸先史社会の階層化の研究状況と問題点を理解し、縄文文化の階層化社会問題を考える手掛かりとする。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	「縄文時代の階層と弥生時代の首長」 『クニへの歩み』のテーマ①として、縄文社会の階層化問題を扱い、研究の現状を理解する（教科書第8章－1）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	「倭国乱れるー漢帝国の盛衰とともにー」 『クニへの歩み』のテーマ②として、弥生時代の階層化問題を扱い、多副葬墓と墳丘墓の展開から首長制の形成過程を追う。漢帝国とのかかわりを金印などを素材として理解し、そのかかわり方の変化と倭国の形成との相関関係を考える（教科書第8章－2）。	
	準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分

	第 27 回	授業の計画・内容	「纏向遺跡と卑弥呼」 『クニへの歩み』のテーマ③として、纏向遺跡で出土した祭祀遺物を取り上げ、それを起点として弥生時代終末の儀礼の変化を探り、そこに弥生時代から古墳時代へと移り変わる文化と社会の縮図を見通す（教科書第8章-3）。	
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
	第 28 回	授業の計画・内容	「節分は豆まきの起源」 方相氏という古代の役職の日本列島への導入をめぐり、中国の思想が3世紀に流入していたことを議論する（教科書第8章-3）。	
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
	第 29 回	授業の計画・内容	「アヨアヨ考」 日本列島における妖怪の起源を探りながら、中国思想の影響を受けた日本の世界観の形成を論じる。	
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	総括 弥生文化研究の視点を討議する。	
		準備学習 (予習・復習等)	教科書を読んでおく。	60分
履修上の留意点等	第2回目以降は毎回授業開始時に、学習テーマにつき事前学習での疑問点を板書してもらい、その質疑応答から入ります。事前学習を怠らないようにしましょう。			
成績評価の方法	50 %	試験		
		レポート		
		小テスト		
	50 %	平常点		
教科書/テキスト	設楽博己2014『縄文社会と弥生社会』敬文舎			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	24回目の講義にケネス・エームス、ハーバート・マシュナー著、佐々木憲一監訳、設楽博己訳『複雑採集狩猟民とはなにかーアメリカ北西海岸の先史考古学ー』雄山閣の内容を講義するので、目を通しておいてください。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について				
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	824861 / 考古学特講Ⅶ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	松木 武彦 (マツギ タケヒコ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	この授業では、水稻農耕の定着とともに、日本列島の国家形成の端緒となるさまざまな社会変動が生じた弥生時代について、考古学上の議論の現状と展望について知識を深めます。また、それを受けて、自らの学習・研究内容に関する問題の設定、および論考の作成へと考察を深める方法についても学びます。授業は講義形式で行いますが、ディスカッションなどを通じて自らの知識の習得度や理解度を確認する機会をもちます。		
到達目標(ねらい)	弥生時代は、日本の考古学でも比較的多くの研究者が集中し、また社会的にも市民の関心が高い時代であり、大学・研究機関において研究者・教育者・指導者として、また、高等学校をはじめとする教育界や博物館・資料館・文書館・教育委員会などで、専門職として十分に活躍できるだけの人格と専門的研究能力に裏打ちされた力量を兼ね備えていることという、人文科学研究科歴史学専攻の教育方針に沿って学習を深めるのに適した対象です。この授業を通じて、博物館や学校などの教育機関あるいは大学などの研究機関において社会の要請に応え得る専門家として活動できるための高度の能力を養います。		
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	弥生時代はどのように研究されてきたか？－学史的・歴史的検討 参考文献を読み、設問に答える 60分
	第2回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	集落と集団の復元 ①単位集団論とその背景(1960年代) 参考文献を読み、設問に答える 60分
	第3回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	集落と集団の復元 ②拠点集落論の登場(1970-80年代) 参考文献を読み、設問に答える 60分
	第4回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	集落と集団の復元 ③「弥生都市」論の評価と総括(1990年代) 参考文献を読み、設問に答える 60分
	第5回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	集落と集団の復元 ④「弥生都市」論への批判から拠点集落論の再検討へ(2000年代以降) 参考文献を読み、設問に答える 60分
	第6回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	集落と集団の復元①～④のまとめとディスカッション 参考文献を読み、設問に答える 60分
	第7回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	集団と社会の復元 ①高地性集落と社会統合論(1960-1970年代) 参考文献を読み、設問に答える 60分
	第8回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	集団と社会の復元 ②武力抗争についての議論(1970-1980年代) 参考文献を読み、設問に答える 60分
	第9回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	集団と社会の復元 ③青銅製祭器についての議論(1970-1980年代) 参考文献を読み、設問に答える 60分
		授業の計画・内容	集落と集団の復元①～③のまとめとディスカッション

第 10 回			
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 11 回	授業の計画・内容	階層化の議論①墓制の発展についての議論(1) (1970年代)	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 12 回	授業の計画・内容	階層化の議論②墓制の発展についての議論(2) (1980年代)	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 13 回	授業の計画・内容	階層化の議論③墓制の発展についての議論(3) (1990年代～2000年代)	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 14 回	授業の計画・内容	階層化の議論①～③のまとめとディスカッション	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 15 回	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論①年代論(1) (1990年代まで)	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 16 回	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論②年代論(2) (2000年代以降)	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 17 回	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論③古墳出現のプロセス(1) (1990年代まで)	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 18 回	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論④古墳出現のプロセス(2) (1990年代まで)	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 19 回	授業の計画・内容	弥生社会の変化についての議論①～④のまとめとディスカッション	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 20 回	授業の計画・内容	第1-19回のまとめと総合ディスカッション	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 21 回	授業の計画・内容	弥生時代研究と歴史理論① 社会進化論・史的唯物論・国家形成論	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 22 回	授業の計画・内容	弥生時代研究と歴史理論② プロセス考古学と社会発展論	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 23 回	授業の計画・内容	弥生時代研究と歴史理論③ ポスト・プロセス考古学とその影響	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 24 回	授業の計画・内容	弥生時代研究と歴史理論①～③のまとめとディスカッション	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 25 回	授業の計画・内容	弥生時代研究の新視角① 認知考古学(1)	
	準備学習	参考文献を読み、設問に答える	60分

	(予習・復習等)		
第 26 回	授業の計画・内容	弥生時代研究の新視角② 認知考古学(2)	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 27 回	授業の計画・内容	弥生時代研究の新視角③ 高精度古気候復元	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 28 回	授業の計画・内容	弥生時代研究の新視角④ グローバル・ヒストリー	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 29 回	授業の計画・内容	弥生時代研究の新視角①～④のまとめとディスカッション	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
第 30 回	授業の計画・内容	第20-29回のまとめと総合ディスカッション	
	準備学習 (予習・復習等)	参考文献を読み、設問に答える	60分
履修上の留意点等	質問用紙やディスカッションを通じた積極的な参加を期待します。		
成績評価の方法	20 %	試験	
	20 %	レポート	
		小テスト	
	40 %	平常点	
	20 %	質問用紙による意見の往復	
教科書/テキスト	授業で配布するプリントを教材として用います。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業の進行に応じ、毎回の授業で紹介します。		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業の全体進行に遅滞が生じないよう、講義内容の効率的整理を行った。		
関連リンク	特になし		
実務経験がある教員による授業科目	特になし。		
アクティブラーニング型の授業科目			